FOR ALL THE MOTORCYCLE, CAR & MUSIC LOVERS

The EnshuSiast Magazine

TAKE FREE!

エンシュージアスト
2024 / Vol.8

Be a
GENTLE RIDER
人とバイクのあいだに、いつも。

The EnshuSiast Magazine

VOL.8 CONTENTS

EnshuSiast PROFILE …… 04

特集

Bea 人とバイクのあいだに、いつも。

GENTLE RIDER …… 06

安心を身につける~HYOD AIR-BOOST …… 12

EnshuSiast 提言企画 「バイクのふるさと」を「ツーリングの聖地」に! …… 14

茶ミスタラリー「遠州ツーリングマップ」 …… 18

川島モータースPRESENTS
「バイクで走りたい!! STAFFおすすめツーリングスポット」 …… 20

SUZUKI IS BACK!「青いスズキがサーキットに戻ってきた。」 …… 24

「遠州にFrolidaの風が吹いた」DainaoGarage Factoryの新たなる挑戦 …… 28

盆栽のある暮らし 育て愛でる楽しさ …… 30

遠州の逸品 …… 33

六間道路グランプリ外伝「浜松繊維産業ヒストリー」 …… 36

大歳神社PRESENTS「遠州 至極のグルメ」 …… 38

ENSHUSIAST INFORMATION …… 40

コラム ~ 卸本町通信 …… 42

EnshuSiast Friendly Shops …… 44

From Editors ~ 編集後記のような話 …… 46

AD INDEX(50音順)

大歳神社/御刻印……P.39
川島モータース……P.23
株式会社クシタニ……表2
スズキ株式会社……表4
株式会社デイトナ……表3
ハママツツーリングツアー……P.41
バランスデザイン株式会社……P.27
福ちゃんラーメン……P.43
マックスフリッツ……P.32
マンブルズ・どんぐり食堂…P.44

The EnshuSiast Magazine Vol.8
2024年10月12日発行

Publisher : Hiroki Yamakawa
Editor : Satoshi「TEXAS」Ohnuma
Editorial Staff : Don U1 Sahara, Agito Ishizuka,
Katsumi Matsushita, Takuya Hiramatsu,
Yamasan Yamakawa, Kosuke Ogusu, Mayumi Kuno
Photo : Hidekazu Kurumiya, Don U1 Sahara
Text : Texas Ohnuma, Don U1 Sahara, Agito Ishizuka

発行 : 有限会社キーウエスト クリエイティブ
〒432-8055
静岡県浜松市中央区卸本町52 エンシュージアスト編集部
TEL : 053-570-0225 FAX : 053-5700-0224
mail : info@key-w.com

印刷 : 東海電子印刷株式会社

表紙 Model : イシヅカユウ
衣装協力 : MaxFritz by DAYTONA
Photo : Hidekazu Kurumiya

KUSHITANI®
HAMAMATSU

We create the safety world.

www.kushitani.co.jp

40 Soba miller

「そば時間」の中で、そばの魅力を伝えていく。

森のそば粉朝日製粉　5代目女将　中村倫世

中村さんの実家は150年続く老舗のそば粉専門店。長年地元のお店にそば粉を卸してきた。個人経営で後継ぎがなく、閉店するお店が増えたことに危機感を覚え、15年ほど前から卸しの傍らネット通販で小売りを始めた。「そば」は縄文時代の頃から世界各地でさまざまな形で食べられていて、日本のお店で食べる「麺」として提供され始めたのは江戸時代のころという。近年は健康食としての価値が見直され、食材としての良さをそれぞれの感覚で気軽に取り入れてもらえるように、ドーナツやジェラートといった商品を開発し、多くの人にそばの魅力を伝えていきたいと願う。

森のそば粉屋さん
周智郡森町問詰1223-12
https://www.instagram.com/morinosobako/

39 Chief priest

失敗を恐れない勇気と、人の幸せを願って日々を過ごす

油山寺　住職　鈴木快法

701年創建と伝わる遠州の古刹に生まれ、やりたい夢と現実の間で悩んでいた20代の頃、自分と同い年の74年式ハーレーであてもなく旅をした。ある港町でもてなしを受けた漁師の言葉が胸に刺さった。「海に出るのは自分のためだけじゃない。獲った魚を誰かが食べて美味しいと笑顔になってくれるのが何よりだよ。」それからは他人のために生きてみようと、発想を変える転機になった。6年前に住職となり、お参りする方のためになるならと様々な整備を行なってきた。「バイクから多くを学びましたが、心に余裕を持ち、いつまでも遊び心を忘れない大人でありたいですね」と語る笑顔に人情味溢れる人柄が表れていた。

目の霊山　油山寺
袋井市村松1番地
https://yusanji.jp/

38 Shoemaker

ハンドメイドのオリジナル革靴の制作工房

株式会社 和靴（なごみぐつ）代表取締役 太田勝久

大学卒業後半導体メーカーに就職。その後大手PCメーカーに転職したが、自分のやりたい仕事をずっと探し続けていた。そんなある日、雑誌に掲載されていた「革靴制作の体験教室」の募集が目に留まった。もともと興味のあったファッションの中でも靴が好きで、革靴を磨き上げることが大好きだった太田氏は迷わず申し込み、体験1日目で「これだ!」と確信し、週1で3ヶ月東京まで通った。その後仕事を辞めて専門の学校に通い、さらに技術を身につけて独立。北千住で開業後、浜松に帰省。7年前に現在の場所に工房を構えた。オリジナルの革靴のオーダーはもちろん、バイクブーツの修理も依頼を受ける。

株式会社 和靴（なごみぐつ）
浜松市中央区三方原町100-2 なごみビル1F
TEL:053-436-0379
WEB:http://nagomigutsu.co.jp/

37 Eventer

音楽とその場所を愉しむ空間を創る

MUSICBAR HAMAMATSU主宰　宮井知美

みどり豊かな芝生の上で寝転がりながら音楽を愉しんでいる人の姿を見て「この風景、いいですよね。こんな空間をもっと作りたいんですよ。」と語るのは宮井知美さん。東京で働いていたのだが、コロナ禍を期に生まれ育った浜松でリモートワーク。改めて浜松の魅力がいっぱい見えてきたと言う。そのひとつがセミプロ級のミュージシャンがいっぱいいるということ。そんな音楽をもっと気持ちよく、カジュアルに聞ける街にしたい。そんな思いから立ち上げたのが、「MUSICBAR HAMAMATSU」。浜松城公園、新川モール、遠州灘海浜公園など、良質な演奏を青空の下で愉しむ空間づくりを行なっている。

MUSICBAR HAMAMATSU
不定期音楽イベント、開催情報はインスタにて発信
@musicbar_hamamatsu

人とバイクのあいだに、いつも。

GENTLE RIDER

心身ともにジェントルなライダーでいるために大切なこと。
それは、ファッションを楽しむ心と、周囲へのやさしさ。
大好きなバイクと、お気に入りのライディングウェアを身に纏えば、
シールドの中ではいつも笑顔でいられるはずだ。

■ヘルメット：DN-001RS マットブラック　¥24,200
■ジャケット：DJ-012　オールシーズンソフトライダース
ダークネイビー　¥28,600
■グローブ：HBG-040
ALLスポーツロンググローブ　¥8,580
■シューズ：HBS-003　ショートブーツ　¥16,500
以上、価格はすべて税込

DAYTONA APPAREL & HELMETS

■フリップアップシステムヘルメット
DN-004LT/28,600円（税込）

機能性とデザイン性を両立した、ライダーによるライダーのためのライディングウェア。

遠州森町に本社を置く、バイクのパーツメーカー、デイトナが新たに展開するのが、オリジナルのアパレル&ヘルメットライン。ライダーの要望を直接ヒアリングしながら、社内で企画から型どり、サンプルのソーイングまで行い、機能、デザイン、価格設定など、バランスの取れたラインナップが完成した。シンプルかつ落ち着いたカラー展開は乗るバイクを選ばない。

株式会社デイトナ
住所：静岡県周智郡森町一宮4805　TEL：0538-84-2200　HPアドレス：https://www.daytona.co.jp/

■ヘルメット：DN-001RS マットブラック ¥24,200
■ジャケット：DJ-012　オールシーズン
ソフトライダース　ダークネイビー　¥28,600
■グローブ：HBG-040
ALLスポーツロンググローブ　¥8,580
■シューズ：DS-501　D-WPライディングシューズ
ブラック　¥12,100　以上、価格はすべて税込

KAWASAKI ZX-4R

■ヘルメット：DN-002CP　ホワイト　¥24,200
■ジャケット：DJ-013　ウインターウインドブレーカー
フォレストナイト　¥29,700
■シューズ：DS-501　D-WPライディングシューズ
ブラック　¥12,100
以上、価格はすべて税込

SUZUKI KATANA

■ヘルメット：DN-005WX マットブラック　¥24,200
■ジャケット：DJ-015　ALLシーズンソフトバーカー
ブラウン　¥28,600
■シューズ：HBS-007　ミドルブーツ　ブラック　¥18,480
以上、価格はすべて税込

YAMAHA TRACER9 GT

Harley-Davidson HAMAMATSU

Harley-Davidson X350

ハーレーのあるライフスタイル、バイク+ファッションを堪能する。

広い店内に優雅に陳列されている厳選された最新のハーレー。眺めているだけで想像力が膨らみ、ワクワクしてくる。アパレルコーナーも充実しており、普段着でも利用できる多彩なアイテムが数多く揃っていて、アパレル目当てでの来店が多いのも納得だ。

■ジャケット：バー&シールド バッカブルアノラック
#97457-24VW/21,969円（税込）
■キャップ：サンセット バイカーキャップ
#97755-24VW/6,990円（税込）

Harley-Davidson 浜松
住所：浜松市中央区植松町1476-2
TEL：0120-50-7676
営業時間：10:00～19:00
定休日：毎週火曜日、第2·4水曜日
HPアドレス：https://harleydavidson-hamamatsu.com

DUCATI HAMAMATSU

DUCATI Monster SP

創業70年以上、静岡県内最大のドゥカティ専門店。

イタリアンテイスト溢れるおしゃれなショールームには、ドゥカティ最新モデルをはじめ、ドゥカティならではの、デザインや機能性、安全性に拘ったライディングギアやグッズ、カスタムパーツが揃っている。

■ジャケット：ファブリックジャケット
OutdoorC3（インナーダウンジャケット付）/46,273円（税込）
■パンツ：Down Town C1/26,364円（税込）
■ブーツ：Down Town C2/24,455円（税込）
■ヘルメット：Corse Power（Arai RX-7X）/80,364円（税込）

ドゥカティ浜松
住所：浜松市中央区安松町21-6
TEL：053-411-8880
営業時間：平日10:00～18:00、休日9:00～18:00
定休日：毎週水曜日、第1·3·5火曜日
HPアドレス：https://www.ducati-hamamatsu.com

TRIUMPH HAMAMATSU

TRIUMPH TIGER900RALLY PRO

人気のモダンクラシックからスポーツ、アドベンチャーまで充実!

トライアンフ正規ディーラー「トライアンフ浜松」。往年の英国スタイルモデルや革新的なモデルが多数展示してあり、その洗練されたデザインと高い質感を感じる事ができる。常時10種類以上の試乗車が用意してあり、購入後のアフターサービスも充実している。

■ジャケット（メンズ）：ツアラーライトジャケット/103,620円（税込）
■パンツ（メンズ）：カノックライトジーンズ/73,150円（税込）
■ブーツ：アルパインスターズ Corozal
アドベンチャー ドライスターブーツ/65,670円（税込）

トライアンフ浜松
住所：浜松市中央区安松町6-15
TEL：053-424-6711
営業時間：10:00～19:00、日·祝…10:00～18:00
定休日：毎週月曜日、第1·3火曜日
HPアドレス：http://www.triumph-hamamatsu.jp/

Motorrad Hamamatsu

BMW R1300GS

最新モデルからOHVモデルまで、安心して相談できるBMW専門店。

西インターを降りて浜松環状線沿い、広い駐車場が目印のモトラッド浜松。BMW専用テスターやスペシャルツールを完備し、BMWマイスターが在籍しているのでどの年代のモデルも安心して相談できる。また、定期的にイベントも開催しており趣味の合う交友関係が生まれるのも嬉しい。

■ジャケット（メンズ）：59,000円（税抜）
■パンツ（メンズ）：85,000円（税抜）
■シューズ：49,000円（税抜）

モトラッド浜松
住所：浜松市中央区湖東町3377-1
TEL：053-486-1200
営業時間：10:00～19:00
定休日：毎毎週水·木曜日
HPアドレス：https://www.datz-bmw.jp/outline/hamamatsu/

KM MOTOHAMA

KTM 890 ADVENTURE

歴史と実績が証明する
確かな技術とサービス。

創業77年の川島モータースが展開するKTMモーターサイクルは機能性だけでなく、デザイン的にも完成度が高く、多くのファンがいるメーカー。KM元浜は遠州地域では唯一のKTM正規取扱店で、オーストリアのKISKAデザインによる洗練されたKTM公式バイク用品も多数ラインナップされている。

■ジャケット：DEFENDER JACKET/52,069円（税込）
■パンツ：TOURRAIN WP V2 PANTS/29,751円（税込）

KM元浜
住所：浜松市中央区元浜町76-5
TEL：053-478-0877
営業時間：9:30~18:30
定休日：毎週水曜日、第3木曜日
HPアドレス：
https://www.kawashima-motors.co.jp/motohama/

PEPE MOTOR CYCLES

Harley-Davidson CVO ROAD GLIDE FLTRXSE

気軽に相談できる雰囲気と
居心地の良さでファンに人気。

屋外展示スペースにはユーザーのニーズにマッチした厳選された展示車両が並び、お客の要望を親切丁寧に応えるペペモーターサイクルスにはファンが多い。ショップオリジナルアイテムにも力を入れていて、Tシャツやキャップ、パーカーなど多数販売している。

■ジャケット：ペペオリジナルコーチジャケット/9,800円（税込）
■キャップ：ビルトウェル/4,100円（税込）
■グローブ：ビルトウェル/6,100円（税込）
■サングラス：バイカーシェード
（2%er ツーパーセンター）/5,500円（税込）
■パンツ：マックスフリッツ（私物）
■ブーツ：オニツカリンカンブーツ（私物）

（株）ペペモーターサイクルス
住所：浜松市中央区北島町1409-5
TEL：053-581-7685
営業時間：10:00~18:00
定休日：毎週木曜日、第2·4金曜日
HPアドレス：https://www.pepe-motorcycles.com

KUSHITANI HAMAMATSU HONTEN

HONDA CB1100EX

クシタニレザーの質感を納得いくまで味わえる、
国内随一のフラッグシップストア。

館内に1947年創業当時の櫛谷本店が復元された過去と現在が交差する空間。往年のライダーたちのレーシングスーツが70年以上のクシタニの歴史を物語り、カフェスペースで休憩すれば、バイクミュージアム感覚で楽しめる。最新ウェアが陳列された店内では、ゆったり納得がいくまでお気に入りの一着を選ぶことができる。

■ジャケット：アンフィニッシュドジャケット/135,300円（税込）
■グローブ：テンダーグローブ/15,400円（税込）
■ブーツ：シャーリングブーツ（私物）
■パンツ：ハイウェストパンツ·レディース80'sオーダーカスタム（私物）
■ヘルメット：クシタニ70th Anniversaryヘルメット
（ARAI RX-7X）（私物）

KUSHITANI PROSHOP 浜松本店
住所：浜松市中央区白羽町662-1
TEL：053-488-8884
営業時間：10:00~19:00
定休日：毎週水曜日
HPアドレス：https://kushitani.co.jp/honten/

KAWASAKI PLAZA HAMAMATSU

KAWASAKI Z900RS

雑貨店に立ち寄るような気軽さで、
カワサキの世界観を楽しめる。

雄踏バイパスに面したアクセスの良い立地で、広々した駐車場は二輪·四輪どちらも安心して立ち寄れる。明るくカジュアルな店内は、プラザ限定アパレルやアニメコラボアイテムとともに最新モデルをゆったり展示、カワサキの魅力を五感で感じながら納得の1台を選ぶことができる。

■ジャケット：カワサキAQUATICデニムジャケット/22,000円（税込）
■パーカー：ストレッチボンチハーフジップパーカー/12,650円（税込）
■パンツ：カワサキムラバッグサテンワークパンツ/16,060円（税込）
■ブーツ：カワサキサイドゴアライドブーツ/34,100円（税込）
■グローブ：カワサキレイブングローブ/12,100円（税込）

カワサキ プラザ浜松
住所：浜松市中央区入野町10001
TEL：053-415-1177
営業時間：10:00~19:00
定休日：毎週水曜日、第2·4木曜日
HPアドレス：https://www.kawasaki-motors.com/ja-jp/plaza-store/hamamatsu/

HYOD PRODUCTS

SAFE, SMART AND EASY

エアバッグが作動する瞬間をご覧ください。

HYOD AIRBAG WEAR
HYOD AIR-BOOST

STREET MODE
TRACK MODE
ADVENTURE MODE

HIX001
HYOD AIR-BOOST FORCE 01
COLOR : BLACK / BLACK·BLACK /WHITE·BLACK / ORANGE
SIZE : S·M·L·LL·3L
［3L は BLACK/BLACK のみ］
本体価格:¥49,900（税込価格 ¥54,890）
※本製品には In&box（検知センサー）が必要になります。
In&box のご利用には使用料が別途必要となります。

■ 株式会社ヒョウドウプロダクツ　静岡県浜松市中央区市野町2732　https://www.hyod-products.com

あなたと、あなたの大切な人のために
安心を身につける。

ライダーにとって、バイクは自由と開放感を感じさせる。
安心してライディングを楽しむために、安全への配慮は欠かせない。
HYODは交通外傷から胸部や腹部、頸部、脊椎などを保護する
画期的なエアバッグウェアHYOD AIR-BOOSTを開発した。
手軽に安全性能をアップグレードして、さらに楽しさを加速させよう。

リスクを検知し、エアバッグを作動。システムの頭脳は、すべてIn&boxに集約されています。

COLOR : BLACK/ORANGE

バイク用エアバッグがファッショナブルに昇華した。

今の時代を走るライダーには、バイクをスマートでファッショナブルに乗りこなして欲しいもの。EYOD AIR-BOOSTの外観はスポーティ&スタイリッシュなイメージ。通常時は薄手のベストとして、どんなスタイルにもマッチする。動きを妨げず、ライディング時の自由度を確保している。今お持ちのライディングジャケットにインナーとして着用するだけの手軽さが大きな魅力だ。驚くほどライトな着心地で、お気に入りのスタイリングを崩さず、万が一の場合には瞬時にエアバッグが作動。この一着が安全性能をアップグレードしていく。

モードの切り替えで、様々なライディングに対応。

HYOD AIR-BOOSTは専用のスマートフォンアプリ「My In & box」で登録・設定・管理の全てが可能。選べる検知モードは「ストリート／トラック／アドベンチャー」の3種類。一般道、サーキット、トレイルラン～オフロードラリー～エンデューロなど、走る環境に応じてライディングスタイルは異なっている。あらゆるシーンの転倒や事故に対処するには、それぞれのアクティビティに適した専用のアルゴリズムが必要だ。全日本のトップライダー・中須賀克行選手をはじめ、EYOD契約ライダーが開発に参加。テストで収集したデータを分析し、トラックモードのアルゴリズムに最適化している。

HYODが独自に開発したパターンが安全性と快適性を両立。基本的にメーカーを問わず、どんなジャケットの下にも着用可能。

守るべきは自分とバイクだけじゃない。

バイクを楽しむ時、家族やパートナーへの心遣いは欠かせない。家で待っている人を想うとき、パートナーを不安にさせないことは何よりも大切だ。AIR-BOOSTの商品化にあたり、EYODはバイクに乗らない方の声にも耳を傾けた。「バイクは危険なもの」というイメージを「安全性能の高いエアバッグがあれば、バイクをもっと楽しんで欲しい」という流れに変えていく。家族みんなの笑顔の先に、新たなバイクの楽しみ方が広がっている。ライダーと新しい景色を見るために、これからもEYODは安全性能を追求していく。

「バイクのふるさと」を「ツーリングの聖地」に!

Enshu Siast 提言企画!

エンシュージアスト編集部がある遠州地域はバイク産業のふるさとであり、ライダーにとっては自分の愛車の生まれ故郷＝里帰りの土地でもある。多くのツーリングライダーが訪れるようになれば、それは地元ライダーや市民の誇りになり、地域の魅力のひとつになるだろう。バイクツーリズムを定着させるため、実践的に活動する方々がそれぞれの立場から自由に語りあった。遠州の地に独自のバイク文化を作り上げるプランをエンシュージアストが提言する。

原点は地域との接点づくり

それぞれ活動を始めるきっかけは何だったのでしょうか。

福田（以下、F）／仕事で接点のあった地域のために何かできたらと、最初に設楽町で始めたのが「朝活カフェ」。概ね好評で、多くの自治体とパートナーシップ協定を広げています。

石津（以下、I）／「浜松にはバイクを安心して停められる場所が少ない」ことがきっかけで、大歳神社にバイク専用駐車場を作り、ライダーが交通安全を意識してもらえるように「自動二輪サポート神社」として活動しています。「バイクのまちだから、バイクを歓迎できる」という土壌づくりを進めています。

竹下（以下、T）／設楽町という地域を知っていただくきっかけにと、約2年前に「だみねテラス」というカフェの運営を始め、ライダーが集まってくれるようになりました。

松木（以下、M）／長年バイク開発に従事し、バイクの魅力を誰よりも分かっているつもりです。バイクとライダーが軽んじられる現実に「もっとバイクを大切に扱ってもらい、歓迎する機運を高めたい」とWBRの活動を始めました。

アジト石塚（以下、A）／バイクショップの店長だった経験から、マックスフリッツ浜松店で店長を任されました。県外からのお客さまも多く、地元産品などを紹介してライダーと地域を結ぶ接点になりたいと思っています。

皆さんきっかけは様々ですが、バイクの魅力をもっと伝えたいという思いが共通の原点にあったということですね。

◆◆◆

ツーリングの楽しみ方は変わってきているのでしょうか?

F／「バイクでどこに行ったら良いかわからない」というライダーが増えています。自分で地図を調べ行動するライダーが減り、イベント参加＝ツーリングというライダーが増えていますね。私たちが「目的地」を作り、そこで交流が生まれるようなイベントを仕掛けていくことが重要です。

T／きっかけさえ作れば、ライダーたちの交流は昔も今も変わりません。ツーリングコースやカスタムなどの情報交換、お店のスタッフとの交流など、人が集うところには自然と交流が生まれてきます。「バイクは人とつながるためのツール」という存在であると思います。

◆◆◆

活動を始めて生まれた効果は何でしょうか?

T／うちのスタッフはみんな地元のおばちゃんです。ライダーと初めて接する方がほとんどでしたが、最近は常連さんが「また来たよ」と気軽に声を掛けてくれて、自然と交流が生まれています。アットホームな雰囲気を作ることで、ライダー同士がゆっくり滞在してコミュニケーションをとる機会も増えています。

ライダーはツーリングの目的地を求めている

ヘルメットを取って話す機会をつくる

M／最近のライダーはマナーが向上している人が増えています。ルールを守り、普通に明るく接することで「ライダー＝怖い人」というイメージが変わってきたことが、地域の方に受け入れてもらえるようになっています。

I／神社やお寺は車が停めにくい場所にあることも多いので、そんな場所を巡るには機動力があるバイクが適しています。神社・お寺とバイクの相性は良いと思いますよ（笑）。

◆◆◆

I／今のライダーは「ロス」を嫌がる傾向で、「タイパ」「コスパ」を重視する若いライダーはナビで目的地を登録して、寄り道せずにいろんな場所を周りたいという人が多いです。動画を撮ってSNSで共有すると楽しみ方も多様化して。でも本来バイクは「手間のかかる乗り物」でしょう。地図を見て走っても間違えて偶然知らない場所に出たり、好奇心で脇道に外れてみたり、五感を常に働かせて走るからこそ、いろんな経験ができます。ネット上でツーリング情報を整備することも必要ですが、本来のバイクの醍醐味である「不便で面倒くさい乗り物」を逆手にとって楽しむような提案をすることも大事です。

M／今のバイクは装備が充実し、ウェアも暖かな電熱ジャケットなど進化しています。便利になった代わりに低温の路面に気づかないといった、五感を働かす機会が減って感覚が鈍っている気もします。やはり「面倒くさい乗り物」という感覚を常に忘れないことが大事です。

ちょっとした親切が喜ばれる

ライダーに喜ばれる設備や施設は何でしょうか。

T／バイクは身体がむき出しで、寒さは堪えます。雨や風にさらされたライダーに暖房や温かいものを提供すると心底喜んでくれます。

M／ヘルメット置き場があったら嬉しいです。ウエットティッシュ程度の簡単なシールド拭きも喜ばれます。

F／屋根付きのバイク駐車場が欲しいです。バイクが大事にされていることが伝わります。例えば前乗りライダー向けに宿泊プランをホテルと企画し、簡易テントを屋根がわりに設置したら大変喜ばれると思います。

ひと手間かかるのが、バイクの醍醐味

ライダーは大事にされていると思うと、嬉しくなるものです。ライダーの立場になって考えれば、ちょっとした気遣いが喜ばれることがわかります。

株式会社デイトナ
福田一人
太陽光発電等の再生可能エネルギー担当。近隣の観光協会や団体と観光パートナーシップ協定を結び、それぞれの地域と連携して「朝活カフェ」イベントを企画し、地域活性化に尽力する。

WBR
松木関央
ヤマハ発動機OB。バイク開発に40年以上携わり、現在はWBR（Welcome Bikers Roadstation）として、ライダーを歓迎する「道の駅」構想を掲げ、ライダーが集まる拠点とともに活動している。

だみねテラス
竹下 工
設楽町で物産販売の組合長を務め、ライダーの憩いの場所として「だみねテラス」を運営する。ライダーとの交流により設楽町をよく知ってもらうために活動する。現設楽町観光協会会長。

グルメはライダーだけでなく、みんなに愛される

バイクを歓迎するとともに、交流を盛り上げる方法は何でしょうか?

T／だみねテラスには伝言板があり、女性が積極的に一言書いてくれます。それをSNSにアップすると、仲間が反応して次に来てくれる。リピーターが増えて地域とのつながりが生まれるきっかけになっています。

I／大歳神社も最初からステッカーボードを置いてあり、いろんなチームのステッカーでいっぱいです。

T／バイクで訪れた人が、次は家族を連れて来てくれたり。良い場所は家族や友人を連れてきたくなるのですね。ライダーは行動力があるので、地域を知ってもらうきっかけには最適です。

A／昔に比べてライダーのファッションも変わってきました。うちにくるお客様はおしゃれなバイクウエアを求める人が多いです。

F／「朝活カフェ」も最初はライダー向けに早朝ツーリングを提案しましたが、開催してみるとバイクに乗らない人との交流が増えて地域活性化につながる効果が目立ってきました。若いライダーも増え、リターンライダーも増えている。環境を整備すればバイク産業にはまだまだ伸び代があるはずです。

◆◆◆

おすすめするツーリングルートはありますか?

M／夏は涼しい山方面へ、冬は暖かな海方面へ。遠州地域は季節ごとに一年中ツーリングできる「バイク天国」です。

T／設楽町は花を長く楽しめる地域で、梅・桜・桃・紫陽花と初春から初夏まで咲く花が変わります。高低差もあり、標高によって咲く時期も違います。秋は紅葉がおすすめです。そして皆さん必ず写真を撮っていく。「映えるスポット」は大事です。インスタ映えする景色とグルメや定番メニュー、季節を味わえるものが揃っていれば、ライダーは必ず訪れてくれます。

I／都田ダムから三河三石へと抜けるルートがおすすめです。浜松の街なかなら、クシタニ本店やマックスフリッツを経由して、スズキ歴史館へ。そこから弁天島、渚園キャンプ場、舘山寺とライダーなら行きたい場所がいっぱいあります。

◆◆◆

インフラ整備は難しい課題が山積み

WBRでは「バイクを歓迎する道の駅」を構想していますが、課題は何でしょうか。

M／「浜松はバイク生産発祥の地なのにバイク歓迎の地になっていない」ことが問題です。バイクで行って良かったという施設があれば、全国からライダーが訪れ、インバウンドの需要も拡大していくはず。各メーカーが新型モデルを展示して、ここに来れば最新のバイク情報がわかるなど、エンターテイメント性を兼ね備えた高収益で高サービスを提供しつつ採算が採れるプランを立てないと施設の継続は難しい。そこが一番の課題です。

I／「バイクのことなら浜松が最先端をいく」と胸を張って言えるような施設が欲しいです。

バイクには多様な楽しみ方があり、それを活用することで新たな活性化につながる

T／だみねでは手作りにこだわっていて、ライダーから「美味しかったよ」「また来るね」と言ってもらうのが一番嬉しいです。

I／うなぎ、餃子、さわやかも良いですが、何か浜松ならではの新しいメニューを作れないでしょうか。例えば「浜松餃子でない餃子」とか。「バイク餃子」とか、ライダーが自分で焼くスタイルで提供したら楽しそうです。

A／今来たお客様は相模原のライダーでした。伊勢に行ってマックスフリッツへ寄るのが目的のつだと言っていました。最後は「浜松餃子」を食べて帰るそうです。

司会／進行
エンジュージアスト編集長
テキサス大沼

遠州・三河地域に「バイクツーリズム」を定着させるため、本座談会を企画。20代で乗り始めたバイク歴は30年を超え、最近は楽しんできたバイクへの恩返しのために活動する。

大歳神社
石津紀祥

浜松市天王町にある平安時代に創建された大歳神社神主。御刻印プロジェクトやラジオ番組などで、浜松を真のバイクのまちにしようと「バイク神社」として精力的に活動する

マックスフリッツ浜松
アジト石塚

2024年に開店したマックスフリッツ浜松店で、ライディングウェアのスタイリッシュな着こなしを提案する。エンシュージアスト編集スタッフとしても、ライダーとの会話から地域との接点づくりに日々取り組んでいる。

大切なのは、受け入れる側の「おもてなし」の心

バイクツーリズムを定着させるポイントは何でしょう。

M／グルメや景色は大事ですが、受け入れる側に「バイクを歓迎する気持ち」があることが一番大事です。情報が溢れる時代だからこそ、あたたかく受け入れてくれた経験が人を呼びこみます。

F／過性のブームで終わらせないためには「人」の話題性ではなく、地域の人たちとの地道なコミュニケーションが大事です。ライダーの声を反映させて、要望にしっかり応えていくことが必要です。

T／日本全国に誇れる地域活性の力がバイクツーリズムにはあると感じます。

I／静岡空港を活用して、世界からライダーが訪れる地域になって欲しいです。空港からレンタルバイクで「バイクのまち」を訪れる。そんな夢のあるツーリズムができたら良いですね。

M／遠州にはライダーなら一度は訪れてみたい施設が充実しています。そうした施設をツーリングプランに組み込みたいです。

F／成功事例の積み重ねと実績が協力してくれる事業者さんには欠かせません。しっかりした数値目標を作り、プランと活動をしていくことが大切です。

◆◆◆

みなさん今日はありがとうございました。

ライダーには地域を活性していく力があると信じて活動する有志たち。遠州のツーリングシーンを一層楽しく盛り上げていってくれることだろう。

バイクツーリズムには地域の魅力に触れ、リピートで訪れて、訪れた地が好きになる力があり、地域のファンとなって「移住する」ことまでつながっていく。ライダーをもてなす気持ちがあれば、日本国内だけでなく世界に発信できる大いなる可能性があるだろう。

今回の座談会をきっかけに、エンシュージアストは「遠州バイクツーリズム協会」の立ち上げを宣言します。参加してくれた皆さんと「バイクのふるさと遠州・浜松」を「ツーリングの聖地」に進化させるため新たな一歩を踏み出します。

これからの「遠州バイクツーリズム協会」の活動にぜひご注目ください。

DAYTONA PRESENTS STAMP!

茶ミスタラリー
CHAMEETING STAMPRALLY

遠州ツーリングマップ

デイトナ「茶ミーティングスタンプラリー」
チェックポイントを巡ってみよう!

茶ミーティング スタンプラリー開催中

静岡、愛知、山梨、長野をまたぐ
80箇所以上の話題のスポットが勢揃い!
チェックポイントを巡ってスタンプを集めたら
豪華プレゼントが抽選でもらえる。
さあ、デイトナアプリをインストールして、
スタンプラリーを始めよう!

2025年
1月15日(水)まで

奥三河エリア

01 遊べる花屋

標高約900mの段戸山駒ヶ原高原にある植物農家さんが経営するカフェ&フラワーショップ。山々が連なる雄大な自然を眺めながらちょっと一息いかが?
愛知県北設楽郡設楽町西納庫字駒ヶ原295
TEL:090-4193-6088
平日11~15時　休日10~16時

02 道の駅したら

奥三河地域の歴史や名産品に触れることができる新しい道の駅。設楽町特産の鹿肉ロース絹姫サーモンを贅沢に使った「森と川の贅沢丼」が絶品。
愛知県北設楽郡設楽町清崎字中田17番地7
TEL:0536-63-0120
年中無休　営業時間:9:00~17:00

03 だみねテラス

歴史ある田峰観音の入口にあるライダーの休憩所。田峰特産物直売所名物の五平餅を奥三河の豊かな山並みをバックにテラスで楽しめる。
愛知県北設楽郡設楽町田峯字鍛冶沢37
TEL:0536-64-5516
水曜定休　営業時間10:00~16:00

渥美半島エリア

10 蔵王山展望台

蔵王山山頂に位置する展望台は、三河湾から知多半島、伊良湖岬、太平洋までぐるりと360°眺望できる。夜はライトアップされたスロープが展望室までアプローチ。一気に幻想的な空間へと導いてくれる。
愛知県田原市浦町蔵王1-46
TEL:0531-22-0426

11 サンテパルクたはら

朝採りの新鮮野菜が並ぶ産直マーケットは必見!
田原産牛乳で作られたテイクアウト&デリmushaのどうまいソフトクリームはイチオシ。
愛知県田原市野田町芦ヶ池8
TEL:0531-25-1234
木曜定休

12 道の駅 伊良湖クリスタルポルト

渥美半島を船で訪れるお客様を一番にお迎えする海の玄関口。田原市の特産品はもちろん、鳥羽や知多の商品も販売している。
愛知県田原市伊良湖町宮下3000-65
TEL:0531-35-6631
年中無休　営業時間:8:00~17:30

遠州エリア

17 大歳神社

約1300年の歴史がある神社。バイクの安全祈願お守り「道楽守」が人気。近年ではバイク神社と呼ばれ全国からライダーが集まる。
静岡県浜松市中央区天王町1484-1
TEL:053-421-6447

20 マックスフリッツ浜松店

Max Fritzは「バイク乗りの普段着」をテーマに、機能性とファッション性が同居するライディングウエアを展開している。浜松店は本店直営店。
静岡県浜松市中央区卸本町52
TEL:053-570-1222
水・木曜定休

21 ヤマハコミュニケーションプラザ

「過去・現在・未来」と「コミュニケーション」をキーワードにヤマハ発動機とその製品を紹介する企業ミュージアム。随時イベントや企画展などを開催。
静岡県磐田市新貝2500
TEL:0538-33-2520
不定休(ホームページにてご確認ください)

23 かわせみ湖

多目的ダムとして作られた太田川ダムの貯水池。周辺には散歩コースや展望台もあり、四季折々の景色を楽しむことも。その名の通り、野鳥観察にもおすすめの場所。
静岡県周智郡森町亀久保
ダム管理所開放時間10:00~16:00
年末年始(12月29日~1月3日)を除く

25 小國神社

徳川家康公が座ったとされる立ち上がり石があることで有名。心願成就・大願成就を祈り、石に腰かけて帰る人々が続々と訪れるそう。なんともご利益がありそうだ。開運だんごやソフトクリームもおすすめ。
静岡県周智郡森町一宮3956-1
TEL:0538-89-7302

26 天宮神社

御祭神は交通安全、人の踏み行う道の守り神として崇められており、樹齢千三百年余の御神木なぎの樹は丈夫で長持ち、葉が千切れないことから健康長寿、縁結びのスポットともされている。
静岡県周智郡森町天宮576
TEL:0538-85-5544

27 アクティ森

創作体験工房やアウトドア体験フィールド、地場産品の販売所や地元食材をふんだんに使用したレストランなどを備えた複合型体験施設。
静岡県周智郡森町問詰1115-1
TEL:0538-85-0115
水曜定休

29 油山寺

遠州三山の一つ。眼病治癒の薬師として信仰を集める。広大な境内には渓流や滝が流れ、秋には美しい紅葉が観られる。滝行も体験可能(要予約)。
静岡県袋井市村松1番地
TEL:0538-42-3633

KAWASHIMA MOTORS

PRESENTS

バイクで走りたい!! STAFF（スタッフ）おすすめ ツーリングスポット!

川島モータース本店

池谷店長
おすすめルート

川島モータース本店
↓
太田川ダム
↓
ラーメン屋 金次郎
↓
川島モータース本店

川島モータース本店の池谷店長が紹介するツーリングルートは、本店から北に向かい、森町の太田川ダムを目指すルート。
特に太田川ダムがあるかわせみ湖に続くワインディングは、信号が少なく快適に走ることができる。

今回の相棒
Vespa
GTS
Super Sport 300
上り坂でも、高速でも、とにかくグングンよく走る。

太田川ダム

静岡県周智郡森町亀久保575-28

二級河川太田川の河口から上流約35kmの地点に建設され、平成21年7月1日より供用開始となった比較的新しい多目的ダム。
ダム上から視界いっぱいに広がる山々とかわせみ湖の自然の美しさは絶景。

ラーメン屋 金次郎

静岡県周智郡森町向天方1033-3
TEL／070-1324-2384
【営業時間】
月・火・水・木曜／11:00 ～14:00
金・土・日曜／11:00～14:00、
17:00 ～ 20:00
【定休日】臨時休業あり

周智郡森町向天方にあるラーメン屋 金次郎は庭師集団が作り上げた異色のラーメン屋さん。古民家をリノベーションした店舗や庭がお洒落でかっこいい。

ツーリングの時に食べるラーメンは最高にうまい!!

支那チャーシュー麺

昔懐かしい素朴な味の醤油ラーメン。あっさりだけど醤油の香ばしさが感じられるスープに、自家製の硬めの細麺、脂の乗った自家製チャーシューとのバランスが絶妙。

ホンダドリーム焼津

今回の相棒
HONDA
CB1300
Super Four
小山マネージャーの愛車。

小山マネージャー
おすすめルート

ホンダドリーム焼津
↓
掛川道の駅
↓
ふじのくに
茶の都ミュージアム
↓
ホンダドリーム焼津

ホンダドリーム焼津店から道の駅掛川をつなぐルートには広大な茶畑が広がっている。
茶畑は季節によって表情が変わるので、時期ごとに変化する美しい景色を楽しみながらツーリングができる。

道の駅掛川

静岡県掛川市八坂882-1

国道1号線日坂バイパス沿いにある大型の道の駅。駐輪場が広くバイクが停めやすいのでちょっと一休みにちょうどいい。周囲には緑深い自然や古い歴史を持つ「事任八幡宮」などがあり、心身ともに癒される環境。

ふじのくに 茶の都ミュージアム

静岡県島田市金谷富士見町3053-2
TEL／0547-46-5588
【開館時間】9:00～17:00（入館は16:30まで）
茶室は9:30～16:00（入室は15:30まで）
【休館日】毎週火曜日（祝日の場合は翌平日休館）、年末年始
【観覧料】一般300円
（大学生以下、70歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料）
※体験に参加する場合は別途料金がかかります。
【 HP 】https://tea-museum.jp/

日本一の大茶園である牧之原台地に位置し、美しいヒノキの吹寄せ壁が目を引く「ふじのくに茶の都ミュージアム」。博物館では日本のお茶だけでなく、世界のお茶や歴史、文化などが学べる。また、茶道や抹茶挽き等々お茶に関した様々な体験が楽しめる。

江戸時代の大名茶人「小堀遠州」が手掛けた茶室と庭園を復元した茶室「縦目楼」と日本庭園。鎖の間「臨水亭」では茶道体験ができる。

ミュージアムショップ
選べるジェラートパフェ

世界で一番濃い抹茶ジェラートで有名な「なな や」のジェラートを使ったパフェ。味の組み合わせは自分の好みで選べるので、色々な組み合わせを試したい。抹茶の風味と甘みがツーリングで疲れた体に沁みる。

ALL FOR RIDERS

すべてのライダーのために

通う ~250cc
for 通勤通学

初心者向け乗り方講習開催

電動アシストサイクル・
電動スクーター勢揃い

遊ぶ 250~400cc
for レジャー

ツーリングイベント開催

バイクレンタルサービス
HondaGO!

旅する 400cc~
for ツーリング

国内全メーカー・海外ブランド
取り扱い

豊富なサービススタッフによる
丁寧なメンテナンスで安心

KAWASHIMA MOTORS

川島モータース 本店
〒432-8011 浜松市中央区城北1-10-8
TEL.053-471-2543
営業時間：ショールーム9:30～19:00、
サービス工場9:30～18:00
休業日：水曜日・第3木曜日

KM元浜
〒430-0942 浜松市中央区元浜町76-5
TEL.053-478-0877
営業時間：ショールーム9:30～18:30、
サービス工場9:30～18:30
休業日：水曜日・第3木曜日

カワサキ プラザ浜松
〒432-8061
浜松市中央区入野町10001
TEL.053-415-1177
営業時間：10:00～19:00
休業日：水曜日、第２・第４木曜日

カワサキ プラザ豊橋
〒440-0092
愛知県豊橋市瓜郷町一新替 67-1
TEL.0532-26-2277
営業時間：10:00～19:00
休業日：水曜日、第２・第４木曜日

ホンダドリーム焼津
〒425-0091 焼津市八楠 3-13-5
TEL.054-631-5819
営業時間：10:00～19:00
休業日：水曜日、第2・第4木曜日

取扱メーカー

HONDA YAMAHA SUZUKI Kawasaki KTM aprilia MOTO GUZZI Vespa KYMCO

本店は2018年より
「ヤマハアドバンスディーラー」認定店です。

静岡

KM KAWASHIMA MOTORS

プラザ豊橋

気持ちいい
ワインディング!

今回の相棒

KAWASAKI
Z900RS・W800

KAWASAKIの中でも
特に人気の2台で今日は
ツーリング。

ながしのえんてい 長篠堰堤

愛知県新城市横川倉木

長篠発電所の防水堰堤で、導水路の川側に水が越流される姿は美しく、「新城のナイアガラ」と言われている。日本の三大美堰堤の一つ。

食堂spoon

愛知県新城市上吉田松沢42
TEL／0536-34-0100
【営業時間】11:30~14:30
【定休日】月・火曜日（祝日等変更あり）

地元のお肉屋さん「肉匠かどや」が経営する食堂。店内は田舎のおじいちゃん・おばあちゃんの家に遊びに来たような広々開放的な空間に平テーブルがゆとりを持って置かれている。お肉屋さん直営なので、肉の味は抜群でボリュームも満点。予約必須の人気店。

見た目も
美しい!!

ビーフカツレツ

絶妙な加減で調理され、ほんのり赤みが残るビーフカツレツは、旨味が衣に閉じ込められて、お肉の味を十分堪能できる。

カワサキプラザ 川嶋店長・西山店長おすすめルート

プラザ豊橋
↓
長篠堰堤
↓
食堂spoon
↓
プラザ浜松

プラザ豊橋店から新城の山間を抜け、舘山寺を経由しプラザ浜松店に向かう山と浜名湖を楽しめるルート。川嶋店長は普段からプライベートで長野・信州方面へツーリングに行くことが多く、お客さんにオススメを聞かれることもあるため、常にツーリングスポットの情報収集をしている。

カワサキ プラザ浜松がリニューアルOPEN！Ver.2.0に進化！

雄踏バイパスに面したアクセスの良い立地にある「カワサキ プラザ浜松」。
2024年8月に、明るいウッディな店内へとリニューアル。雑貨店を思わせる木目調フロアとアイランドスペースにプラザ限定アパレルやオリジナルグッズをディスプレイ。「光のケージ」で静かに眠りにつく展示車があなたをお出迎えいたします。気軽に立ち寄れる雰囲気へと生まれ変わった「プラザ浜松」へ、ぜひお立ち寄りください。

青いスズキがサーキットに戻ってきた。

「お待たせしました。青いスズキがサーキットに戻ってきました。」ピット前に立つ佐原プロジェクトリーダーの声が場内に響き渡った。一度止まった時計の針が、再び動き出した瞬間だ。2024年夏のFIM世界耐久選手権 第45回鈴鹿8時間耐久ロードレース。CN＝カーボン・ニュートラルをテーマに掲げたスズキファクトリーの新たな挑戦が今年のレースを大いに盛り上げた。レースが終わった8月初旬、このプロジェクトの責任者である佐原伸一氏にインタビュー取材を敢行した。（文中敬称略）

サーキットにスズキが帰ってくる。

スズキ社内外に大きなショックを与えた二輪レース撤退表明から約2年。2024年3月、東京モーターサイクルショーでサプライズな発表があった。

スズキファクトリーによる鈴鹿8耐への参戦表明。サステナブルなパーツを多数組み込んだマシンによるエクスペリメンタル（実験）クラスへ出走するという内容であった。

発表までは秘密裏に進められたプロジェクト。限られた準備時間の中で、デザインスケッチ程度の準備を想定していた佐原だったが周囲は納得しなかった。

「取組みをしっかりアピールするために展示マシンも準備しよう。」と発破をかけられた。チームロゴ、スタッフシャツも用意し、オリジナルカラーリングのマシンを製作しての記者発表。スズキファンのみならず、レースファンが待ち望んでいたスズキのレース活動復帰の報に、否が応でも期待感が高まった。

ホームストレートに勢揃いした全社から公募したスタッフたち。ライダー・メカニック・ヘルパーを含めてチームが一丸となり、見事マシンを完走へと導いた。

『オールスズキ』で取り組んだ8耐挑戦。

参戦発表後、まず取り組んだのはチームスタッフの募集。レースまで4ヶ月を切ったギリギリのタイミングだった。

今回の挑戦では、マシン整備などの専門知識が求められる部分は経験者を充てたが、それ以外のスタッフはスズキ全社からの公募で募った。

佐原が重視したのは、チームワークができるかどうか。「採用：不採用に関わらず、応募者は全員優秀でした。それはスズキという会社が優秀な人材の集団だという表れだと思います。」さらに普通なら二輪グループから優先して選ぶところ、今回は四輪やマリン、生産技術といった全社を横断する部署から採用していった。

「全社からの公募で、普段馴染みがない社員にもレースを身近に感じて欲しかった。それぞれのスタッフが所属する部署はとても協力的で、職場は任せろと快く送り出してくれました。レースに携わらないすべての社員たちを含めた『オールスズキ』で今回の参戦が実現できたと思います。」

サステナブルな課題を、技術力で解決する。

今回の参戦目標は「完走」。それはただ走りきれば良いという意味ではなかった。「今年のマシンにはサステナブル技術を取り入れた多くのパーツを組み込んでいます。ベースマシンをお願いしたヨシムラの加藤社長に同行してもらい、各サプライヤーとの打ち合わせで『こんな技術があります』と先方から提案を受けて採用したパーツもあります。こうしたパーツをレースという極限状態でテストすることで、優位点と課題を明らかにして改良しながら、耐久性や環境性能などを高めることで、未来へ繋がる技術開発をすることが、レース活動をする目的のひとつです。だから速く走らないといけません。」

実はサステナブルなパーツを組み込んだマシン開発は、全て順調に進んだわけではなかった。テストで課題が見つかれば、セッティングを変更して改良する。その積み重ねで徐々にマシンを作りあげていく。竜洋テストコースでの走行テストには、MotoGPマシンの開発ライダーでもあった津田拓也選手が、現在は他チーム所属ながら快く担当してくれた。

「津田選手もチームの一員として参加してもらいました。今回のプロジェクトはスズキがこれまで取り組んできたレース活動の系譜に新たなDNAが加わって出来上がったと思っています。」

こうした開発が実を結んだのが、6月の4メーカー合同テスト。ヨシムラライダー渥美心選手がシェイクダウン後に発した感想が「普通（に走れるレースバイク）」という言葉だった。タイムも2分7秒台と7番手を記録し、本選への期待を大いに高めた。

サーキットでは、互いが良きライバルであり、仲間である。

2回の事前合同テストにはチーム員のほとんどをサーキットへ連れていった。

「レース初体験のスタッフもいたので、事前にサーキットを体験させたいと、テストに参加してもらいました。テストで気がかりだったのはピット作業。最初は時間も手間

佐原伸一
チームスズキ CN チャレンジ
プロジェクトリーダー兼チームディレクター

少年時代に叔父のレースバイク（TZ250）に跨ったりして、自然とレースが好きになる。入社後、自分で整備したセルベットを駆ってクラブマンレースで優勝した経験もある。全日本や8耐の監督を経て、2003年よりMotoGP世界選手権の現場へ。2020年のチャンピオン獲得（ジョアン・ミル）や2022年のレース活動撤退時までチームディレクターやプロジェクトリーダーを務めた。

DH×L HAMAMATSU

DAYTONA HOUSE×LDK

骨を楽しみ、人生を楽しむ。

骨格はクルマやバイク、そして人間や建物にとって最も大事な要素だと言えます。だからデイトナハウスは骨格から開発を始めました。「家を支え、暮らしを支える。」その重要な役割を担うことを使命に設計された軽量鉄骨建築システム『LGS』。醸し出す存在感や質感は他のどんな建材とも異なります。デイトナハウスは家の骨格としてのメリットを「鉄」に見いだし、これまでにない建物の在り方を創造しました。今までの建物像を覆す、まったく新しい建築のカタチです。

「GLB ガレージアパート」

デイトナハウスが設計施工した“世田谷ベース”の増築部分を横に連結させて構築したガレージアパート商品。1Fがガレージ空間、2Fが豊かな吹き抜けのある居住空間という構成のメゾネットの賃貸住宅です。随所に艶消し黒の鉄骨の素材感を露出させたガレージ空間は、他を圧倒する格好良さを提供。賃貸住宅経営の端境期に差し掛かる今、ユーザーの愛着が長期に持続し、使うほどの味が出てくる素材重視の“希少物件=GLB”。是非、ショールームをご覧ください。

What's balance design?

遠州エリアでデイトナハウスの施工、運営するのがbalance design（バランスデザイン）です。「理想と現実」、「想いと想い」、「今と未来」という建物において、大切なバランスを常に考えながら、理想の空間を提案いたします。

balance design

バランスデザイン株式会社

〒433-8111 静岡県浜松市中央区葵西5-23-23
TEL. 053-482-7415 / FAX. 053-482-7004
お問い合わせ専用ダイヤル **050-3066-8943**
https://www.balancedesign.jp/

青いスズキがサーキットに戻ってきた。

SUZUKI is BACK!

チームスズキ CN チャレンジ
Specification

Rider BLUE　生形 秀之 Hideyuki Ogata
Rider YELLOW　濱原 颯道 Sodo Hamahara
Rider RED　エティエンヌ・マッソン Etienne Masson

プロジェクトリーダー兼チームディレクター　佐原 伸一

参戦マシン／GSX-R1000R ヨシムラ SERT EWC CN 仕様
参戦クラス／EXP エクスペリメンタルクラス
燃料／エルフ Moto R40 FIM 40%バイオ由来原料
タイヤ／ブリヂストン 再生資源・再生可能資源比率を向上したタイヤ
オイル／MOTUL バイオ由来ベースオイル
カウル／JHI 再生カーボン材（プリプレグ材）
前後フェンダー／トラス スイス Bcomp（天然亜麻繊維を使用した革新複合材料）
前ブレーキ／サンスター技研 熱処理廃止鉄製ディスク、ローダストパッド
バッテリー／エリーパワー 車載 LFP バッテリー、ピット電源供給用蓄電池

も掛かりすぎで、正直マズイなど。でもテストを重ねていく中でタイムも精度も見違えるほど向上し、レース後に記者から『立派にファクトリーチームだった』と言われるまでになりました。世界の舞台で戦うことが、主体性を生み出し、こんなに短期間で人を成長させるのかと正直驚きました。」

「サーキットでは困ったときは、すぐに助け合ってほしいと伝えました。それは自分の担当だけでなく、誰でも困っていたら声をかけて手伝ってあげる。逆に自分が困った時には遠慮せずに助けを求める。サーキットにいる皆が『仲間』という感覚。とても大切なことで自分も意識しています。」

そして迎えた決勝当日は予選16番手からのスタート。転倒やマシントラブルでリタイアしていくチームもあった過酷な状況で、大きなトラブルもなく着実なピット作業とライダー交代を進め、見事に8位でレースを走り切った。

「走行したライダーはもちろん、チームスタッフ・サプライヤー・応援してくれた人たちすべての協力で、まずは今年は出来過ぎなぐらいの結果でした。プロジェクトの第一歩を踏み出すことができました。来年以降はもっと高いところを目指して取り組んでいくつもりです。」

耐久レースで大きなポイントとなるピット作業。スタッフは何度も練習を繰り返し、ノントラブルでレースを走り切った。

エンジニアとしての経験を、未来に繋げていく。

佐原が掲げたプロジェクトの目標は「1：ブランド力の向上、2：技術のフィードバック、3：人材の育成」の3つ。

新しい挑戦に取り組む「スズキ」を、世界に向けてイメージさせるにはレース活動が分かりやすい。スズキが掲げる「サステナブルな社会の実現」に必要な技術をレースの現場でサプライヤーとともに開発していく。プロジェクトを経験する人材が、技術や精神を継承し、モノづくりを通じて新たな社会を実現していく。

「レースが終わった今振り返ってみると、今回は3つの目標について、理想的な結果を出せました。自分もこれまでの経験を次の世代に伝えていくタイミングで、今回は自分からプロジェクトリーダーに手をあげました。レース活動撤退の時にリーダーだった自分が、今回のプロジェクトリーダーを務めることは次世代へと受け継いでいくストーリーとしても必然だったと思っています。」

「私はこれまでエンジニアとして、幸せな道を歩ませてもらったと感謝しています。レース後にライダーのヘルパーを初体験したスタッフから『他の人にこんなに尽くしたことは、今までの人生でなかったです。とても幸せな時間が今も続いています。』という言葉にジーンとし、プロジェクトを進めて良かったと心底から思いました。」

プロジェクトの更なる一歩に期待感が高まる。

レースが終わり、チームスタッフはそれぞれの職場へと戻っていったが、佐原はまだやるべき業務に追われる毎日だという。

「サステナブルなパーツを使用した今年のレース、従来比でどのぐらいカーボンニュートラルを実現できたかを数値化してレポートにまとめます。そこをスタート地点として、次に向けての目標を立てていくこととなります。」「現時点で来年以降の計画は『白紙』です。とはいえプロジェクトを1年でやめることはありません。新たなテーマが次々と出てきているので、頭の中ではもう次のプロジェクトが始まっています。」

実験クラスへの参戦として、再び始まったスズキの先駆的な取り組み。他メーカーの参入も大いに歓迎し、さらにクラスが盛り上がっていくことを望んでいるという。マシンゼッケンに掲げた「0／ゼロ」が示す「無限」の可能性を信じ、来年に向けてスズキがどんな一手を放ってくるか、大きな期待と共に見守っていきたい。

The Hideaway of Legend
The Sunshine State in Hamaoka

遠州にFloridaの風が吹いた。Dainao Garage Factoryの新たなる挑戦。

LEGENDARY GARAGE
◀YouTube

ピンチをチャンスに変えて、新たな風を吹かせたい。

御前崎市浜岡にアメリカンイメージあふれるスタイルのガソリンスタンドが誕生した。内装や空間づくりを手掛けたのはバイクガレージ製作の雄、ダイナオガレージ大石氏。オーナーの長嶋さんは姉の嫁ぎ先で義兄であり、今回は親族からの新たな依頼に挑戦した。

「うちは親父の代から元売りの石油会社の看板でGSをやってました。それが昨年8月に今後はガソリンを定期的に卸せないと言われ、9月には看板を外して、真っ白な外観に。地域の人に営業を続けて欲しいと請われ、他の卸会社と契約し、自分たち家族のブランドでやろうと決心しました。最初に作ったのはオリジナルロゴ。みんなが気軽に集まってくれるようフロリダの明るいイメージに決めました。」語ってくれた長嶋さんの顔は期待感に満ちていた。

地域のみんなが楽しめる、ワクワクする空間づくり。

ロゴが決まると、事務所スペースのリニューアルを大石氏に相談した。

「昔は近所の農家や営業マンがうちに寄っては、給油のついでに話をしている光景が普通でした。そんな皆んなが楽しんで集まってくれる空間にしたいという思いを伝えると、次々とアイデアを出してもらい、あとは任せてしまった感じです。」

大石氏が提案したのは、誰もがワクワクを感じられるアメリカンな空間。実家にあった姉のピアノを設置したり、アメリカンなショーケースでオリジナルスイーツ販売を始めるのも大石氏が提案したアイデアだ。

「皆んなが一緒に楽しめる空間をテーマに形にしていきました。壁面や空間の装飾は旧知の造形作家と一緒に施工を進めました。ピアノを置くのもスイーツ販売も、いろんな人に楽しんでもらうため。将来は姉のピアノ教室でミニコンサートを開き、お子さんたちに喜んでもらう計画も。お兄さんの思いをたくさんの人に共有してもらえるよう考えたので、もっと色々こだわりたいぐらいです。」

長嶋オーナーが望んだ、皆んなの笑顔が自然と集まる明るく楽しい空間が誕生した。

遊びの達人たちに、ずっと遊びを楽しんでもらいたい。

ダイナオ大石氏が取り組むもう一つの挑戦。それが『LEGENDARY GARAGE』という新たなガレージシリーズだ。

「遊びの達人=LEGENDに喜んでもらえる、余裕あるガレージ空間を形にしようと企画しました。」3.5×7mの空間をスライドガラス扉で仕切り、ガレージ空間とソファや水回りを備えたリビング空間として形にした。リビング側にはオリジナルの薪ストーブも備えている。

「薪ストーブは長野のケンズメタルワーク製、ハンドメイドで非常に精度の高い作りです。火を入れるとガレージ内がサウナ状態になるぐらい(笑)。雪の積もる標高の高いところで本領を発揮する本格的なものです。冬でも扉を開けて、外気を感じながら暖かく自分の時間を過ごす。レジェンドにはそのぐらいのカッコ良さが必要だと思います。」

人が楽しんでもらえるよう、自分の力を尽くしていく。

バイクやクルマに人一倍こだわりを持つ大石氏。趣味を楽しむためには、気力も体力も重要だと常々感じていると言う。「遊びのレジェンドたちも年齢を重ねると、だんだん無理が効かなくなってきます。体力の維持も大切ですが、幾つになってもカッコ良さは保って欲しい。そんな願いも込めて作ったのがLEGENDARY GARAGEです。いつまでも少年時代の遊び心を持つ大人のための上質な秘密基地を作ってみました。いろんな施設でオフィスやレンタル使用も想定しているので、ぜひ様々な使い方を楽しんで欲しいと思います。」

大石氏は趣味人の頼れる兄貴的な存在。自身の経験を基にさまざまなアイデアを形にしてくれる。今後もダイナオガレージの進化に期待が高まるばかりである。

DAINAO GARAGE FACTORY
SHIZUOKA DGF

写真上
スタンド内部もアメリカンイメージで統一。これからいろんな交流が生まれることだろう。

写真中
「ピアノが弾けるガソリンスタンド」は全国でも唯一かも?!新しい展開が大いに楽しみだ。

写真下
タイムスリップしたかのようなエイジング加工されたトイレ。映画のセットのような世界観だ。

写真上
愛車の存在を感じながら、ゆったりと自分の時間を満喫する。満ち足りた感覚で自分の世界を楽しめる。

写真中
薪ストーブで暖を取り、シンクでお気に入りの豆を淹れる。理想の空間がここにある。

写真下
電動シャッターを装備、サイドにはオーニングも設置して、屋外でも快適に過ごすことができる。

ダイナオ
ガレージファクトリー
静岡県磐田市福田3101-1
TEL.0538-55-6655
http://dainao.net/

N-Station
浜岡石油店 浜岡SS
御前崎市池新田792-1

盆栽のある暮らし 育て愛でる楽しさ

盆栽というと、年配の方の高尚な趣味というイメージがあるかもしれない。しかし、観葉植物を職場やプライベートな空間に飾る文化が浸透し、盆栽がCOOL JAPANのひとつとして海外で認知されている今、盆栽に興味を持つ世代は広がってきている。

「BONSAI IKUMA」が百貨店のポップアップストアに出店した際は、年配の方はもちろん、多くの若い人たちが足を止め、興味深く鑑賞していった。

盆栽は読んで字のごとく、盆（植木鉢などの器）に樹木を植栽し、自然の景色や美を想起させる生ける芸術だ。そこには「粋」や「風流」「鰯背（いなせ）」といった日本独自の美意識が存在する。施肥（せひ）、剪定、形の矯正、水やりなどの手間を何十年何百年と継承し、膨大な時間をかけ育てられていく盆栽には完成という概念はない。その奥深さに、老若男女にかかわらずクリエイティブな感性を刺激されるのだろう。

「BONSAI IKUMA」は、広く多くの人にその魅力を感じてもらうためにさまざまなイベントに出店し、JAとぴあ浜松 浜北緑花木センターでは販売と、月に一度初心者でも気軽に盆栽を楽しむための教室も開き、その普及に邁進している。加えて、盆栽を式典や店舗の空間演出の手段として提案するレンタル事業も行い、料亭や旅館などですでに好評を得ている。

専用の道具を使い、手をかけ盆栽を育てていくことは、愛車を自分好みにコツコツとカスタマイズしていくことに通じる楽しみがあるのではないだろうか。

愛車と盆栽を並べ、それを眺めながら過ごすひとときは、ジェントルで上質な時間となるに違いない。

リビングやダイニングに盆栽を置く。小さな鉢でも今までと違った景色がそこに広がる。和洋を問わず暮らしの中に溶け込む魅力が盆栽にはある。

店舗・企業へのレンタル事業

盆栽を置くことで表現したい空間のイメージや世界観を伺いながら、ご予算、ご要望に応じて設置からメンテナンスまでプロデュースさせていただきます。イベント・式典や店舗、個人の方など、シチュエーションに合わせたぴったりの盆栽をディスプレイします。

BONSAI IKUMA

〒434-0003 静岡県浜松市浜名区新原3781

〈盆栽の展示、販売所〉
JAとぴあ浜松浜北緑花木センター
静岡県浜松市浜名区新原6677
営業時間／9:00～17:00 (元日以外営業)

WEB　LINE　INSTAGRAM

百貨店内のポップアップストアに出店時は、「本格的な盆栽を初めて見た」という若い人をはじめ、幅広い世代から興味を持ってもらい好感触を得た。

盆栽の剪定には欠かせない道具類。一般では手に入りにくいが、盆栽の道具として古くから定評のある関市の「兼進刃物製作所」の製品を『BONSAI IKUMA』で販売できることになった。

YAMAHA
Revs Your Heart

eBikeのふるさと森町で育てられた電動アシストドライブユニット。

1993年、ヤマハ発動機が世界で初めて商品化した人力と補助動力のハイブリッド自転車「PAS」。開発当時、未知の領域であるドライブユニット製造に挑んだのが森山工業、現ヤマハモーターエレクトロニクス。電装品メーカーとして制御装置（コントローラー）・モータ製造いずれの生産技術も持っていた同社に白羽の矢が立った。ペダルを漕ぐ力とモータ出力をバランスさせ、違和感のないスムーズな回転制御を実現。以来30年にわたり小型軽量化と制御の改良を重ね、現在はE-KITとして各自転車メーカー仕様での供給も行っている。

ドライブユニット「PW-X3」
YAMAHA電動アシストドライブユニット中、最小・最軽量を誇るフラッグシップモデル。YPJ-MT Proに搭載され、幅広い領域でのパワーアシストとオフロード性能を実現している。

ヤマハモーターエレクトロニクス株式会社
静岡県周智郡森町森1450-6
www.yamaha-motor-elec.co.jp
※2025年1月にヤマハ発動機と合併を予定

A masterpiece from Enshu **遠州の逸品**

独自特許のナノ膜コーティング技術で輝きを長期に持続させる表面処理への挑戦。

SAKURA

ヤマハ二輪車の純正マフラーを製造するサクラ工業。マフラーの変色・錆び汚れを長年の課題としていた同社は、ヤマハ発動機が特許取得したナノ膜コーティングSixONy®／シクソニィにより、新たな表面処理を実現した。耐熱性・耐食性に優れた厚さ数十ナノメートルの微細な膜（Nano-Film）と、約50℃の低温加工温度により、金属から樹脂に至る様々な素材に適用できる。膜厚制御で無色から多彩な発色を作り出し、多用途での活用が期待される。

ナノ膜コーティングはナノレベルの微細な厚みで、下地処理の違いによりマットやグロスといった質感がそのまま反映される。

サクラ工業株式会社　静岡県浜松市中央区半田町18番地　http://www.sakura-kogyo.co.jp/

■ジャケット：MFB-2441 パデッドWジップライダース：レディス／96,800円（税込） メンズ／99,000円（税込） ■パンツ：MFP-2394 ウォームスクランブラーパンツ：レディス／22,000円（税込） メンズ／23,100円（税込） ■グローブ：MFA-2526 プロテクトメッシュグローブ：14,300円（税込） ■ブーツ：MFA-2482 ダブルチェンジパッドブーツ：48,400円（税込）

Max Fritz® DESIGNS

max fritz femme

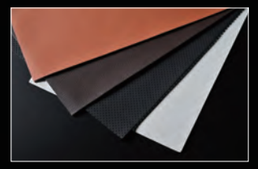
SAPPORO SENDAI TOKYO HAMAMATSU NAGOYA KOBE TOSU

常識を覆す素材で新たな価値を生み出す、夢に寄り添う Sobagni が実現する未来社会。

Kyowa LEATHER CLOTH

Sobagni

自動車の内装用合成皮革素材で世界的なシェアを誇る共和レザー。2021年に「合成皮革で新たな価値を生み出そう」と社内の有志が夢を語りあって誕生したSobagniプロジェクト。「合成皮革は加水分解する」という常識を覆し、10年経っても劣化しないメンテフリー素材を基に、ビジネスバッグやポーチなどの上質な製品を生み出してブランド化した。
「良いものを永く使う」というエシカル思考を追い風に、さまざまな分野で協業を進めている。

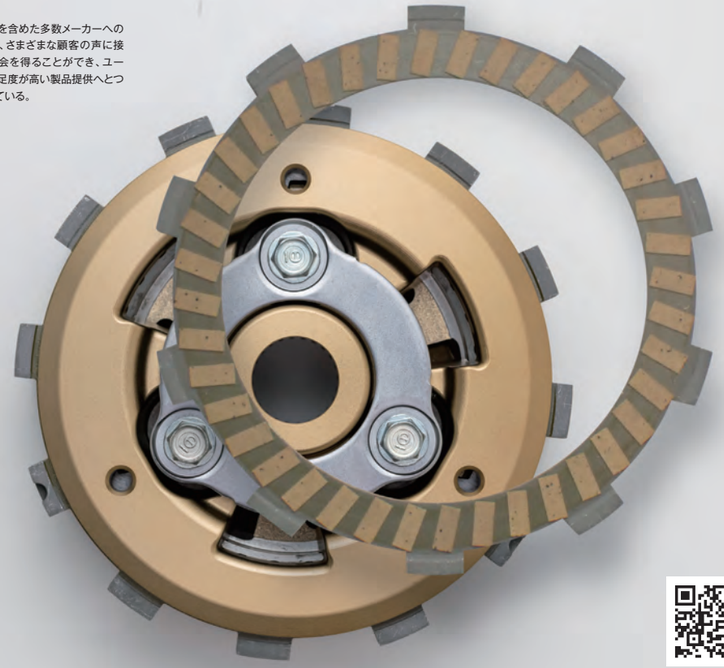


軽く、汚れに強いという特長を活かし、ノベルティ分野の引き合いも多数ある。地元地域での循環型社会を実現するChakaraブランドの普及も進めている。

共和レザー株式会社／Sobagni事業部
静岡県浜松市中央区東町1876番地
https://sobagni.jp/

独創的なアイデアと技術力で顧客に寄り添う、クラッチ業界のトップランナー。

国内外を含めた多数メーカーへの供給は、さまざまな顧客の声に接する機会を得ることができ、ユーザー満足度が高い製品提供へとつながっている。



CLUTCH F.C.C. TECHNOLOGY

２輪用クラッチの世界シェアNo.1を誇るエフ・シー・シー。ここ遠州の地に技術研究所を持ち、世界の顧客ニーズに合わせた多様なクラッチを開発・製造・供給している。自社で開発した特許技術であるアルミカムの推力を利用するアシスト＆スリッパークラッチ™は、クラッチレバー操作力の軽減と、減速時のリアタイヤホッピングの抑制を両立させている。またFLS™（F.C.C.LEANINGSEGMENT）は摩擦材を斜めに配置し、余分なオイルを逃すことで張り付きトルクとドラッグトルクを低減。より快適な操作性を実現している。

株式会社エフ・シー・シー
静岡県浜松市浜名区細江町
中川7000番地の36
https://www.fcc-net.co.jp/co.jp/

HenlyBegins®

ユーザーの声をダイレクトに反映しつつ、あらゆる面での品質向上を追求する製品開発を続ける。

バックパック／シートバッグ両機能を持ち、多くのライダーに支持される2WAYシートバッグがVer.IIに進化。バッグパック時の使い心地の向上がテーマ。パッドの厚みやショルダーベルトの取り付け角度を変更することで、隙間が出来ず自然と背中に沿う形状へ。さらに生地素材から見直すことで100gの軽量化も達成し、動きを妨げず気軽に行動できる製品へと昇華させた。防水性の高いターポリン、軽量・高耐久なCORDURAの２モデルと２サイズ展開でシリーズを拡大。ヘンリービギンズは常にライダーが満足できる製品を開発し続けている。

従来は水平に取り付けていたショルダーベルトを肩のラインに沿う形に変更。人間工学的にも自然な仕様で背中への高いフィット性を実現した。

株式会社デイトナ
静岡県周智郡森町一宮4805
https://www.daytona.co.jp/products/series/detail/710/

「感性に響く」ツールとして使用感まで追求した次世代ソケットレンチ Z-EAL シリーズ。

Koken

ソケットレンチ専門メーカーとして、世界的に評価されるKo-kenブランドを展開する山下工業研究所。年々高密度化する二輪・四輪車の作業性を確保するため、古い規制にとらわれずコンパクト設計で狭い場所での実践的な使い勝手を向上させた次世代「メカニックスタンダード」Z-EALシリーズを開発した。差し込み角1/4インチのソケットレンチセットP2285Zは、二輪のカウルの着脱や高トルクを必要としない軽整備に適したセット。初めて使った時から、思わず笑みがこぼれるような至福の使用感をぜひ体感いただきたい。

Z-EALの特筆すべき点はその空転トルクの軽さ。精緻なラチェット機能と72歯ギアのコンパクトなヘッド設計により、狭い場所での正確な作業を可能にする。

株式会社山下工業研究所
静岡県掛川市中方656番地
https://www.koken-tool.co.jp/z-eal.html

六間道路グランプリ外伝

繊維産業の発展が織りなしたものづくりのまちの軌跡

文・アジキング石塚

日本のバイクをはじめ輸送機器産業を語る上で
欠かすことのできない繊維産業の歴史。
木工、鉄工、鋳造、精密な機械工業を育てた素地となったのは
他でもない織機の進歩と繊維産業の発展であった。
浜松をはじめ遠州地区は綿織物の産地として古くからの歴史があり、
周辺の地場工業とともに進化した繊維産業があったからこそ
浜松は「バイクのふるさと」となり得たと言えるだろう。

東海一の模範工場と言われた東洋紡績浜松工場全景。浜松近郊にはこのような大規模な紡績工場が点在していた。（昭和5年頃・浜松市立中央図書館所蔵）

「ものづくりのまち」を標榜する浜松 その三大産業といえば、バイク、楽器 そして繊維産業

遠州と呼ばれる浜松市を含む静岡県西部地区は、温暖な気候と豊かな水資源に恵まれ、江戸時代中期から有名な綿花の産地だった。それを加工する機織りも、農家の副業として盛んに行われていた。

東海道のほぼ真ん中に位置し、東西の文化が往来する土地柄でそれを受け入れる風土も、遠州の「ものづくり」に大きな影響を与えたに違いない。

明治維新後、近代国家政策によって推し進められた軽産業の機械化や海外からの技術輸入の波は、遠州にも押し寄せ、綿花を原料とした綿織物の生産地として大きく成長させた。

大正元年には、鉄道院中部鉄道管理局浜松工場（現・東海旅客鉄道浜松工場）が誘致され、当時の最先端技術が集結し、それは周辺の機械技術の進歩に大いに影響を与えた。また、関東大震災で被災した多くの職人が浜松を中心に遠州地方に移住してきたことで、ものづくりの技術力が底上げされていった。

紡績工場、染色工場も大手から多種多様な織物をつくる個人経営の工場まで数多く操業し、遠州産地・遠州織物として全国に名を馳せた。

より効率的な動力織機の開発 そこにはピアノ、バイク製造に通じる多くの技術が集積されていた

人力木製の織機から、動力を使った鉄製の自動織機へと進化していく中で培われた技術は、高度な木工加工、鉄工加工、鋳造、機械設計の基盤を育んでいった。

それらの技術は浜松市北部山地からの木材の利用と相まって、国産オルガン製造からピアノ製造へとつながり、楽器製造の分野を大きく拡大させた。

昭和8年には、機械化によって大量生産された日本の綿布は世界一の輸出量を誇るまでになった。昭和10年、愛知県東三河の豊田自動織機製作所（後にトヨタ自動車工業として分社）が国産初の乗用車を発表し、自動車製造業に進出。この知らせは遠州の織機製造に関わる企業に大いに刺激を与えたと考えられる。

第二次世界大戦時には楽器、織機メーカー、紡績工場も軍需工業への転換を余儀なくされた。

終戦後、日本が復興を目指す中、昭和25年に朝鮮戦争が勃発。その特需で日本の復興は加速し、繊維業界では「ガチャマン景気」と言われた「織機がガチャンと織れば万の金が儲かる」と揶揄されるほどの好景気が訪れた。

スズキ操業以来の製品が紹介されている「スズキ歴史館」に展示の鈴木式織機株式会社製造の大型自動織機。

浜松市南部の国道1号バイパスに沿って作られた、繊維関係卸商の集合団地「浜松卸商団地」。その中にエンシュージアスト編集部、バイクウエア専門店マックスフリッツ浜松店がある。この地に拠点ができたことで筆者には「繊維産業とバイク文化の交差点」がイメージできた。

しかし、需要の浮き沈みや、安価な海外製品が輸入されて生産量が激減していく危機感もあったのか、バイクが庶民の足として普及する兆しを感じ取った浜松周辺の織機や部品製造工場が、その機械加工技術を応用してバイクの製造に挑戦するというムーブメントが起きる。浜松には、多い時は30社を越えるバイクメーカーが乱立したと言われている。

ここからは想像の域を出ないが、バイクが金持ちの道楽と言われた時代、浜松で輸入バイクを購入して楽しむことができた層には、景気の良かった繊維産業関係者が多かったのではないだろうか。事実、本誌で度々取り上げる六間道路沿いには繊維産業関係の工場が戦前戦後とも多く存在し、そこから転身してバイクメーカーへ名乗りをあげた企業も多い。それぞれ独自の着眼点でバイクを研究し、欧米車の性能を地場の工業力で再現できることを見事に証明してみせた。

忘れてはいけない偉人たちの功績 「ものづくり」への不屈の情熱が それぞれの産業を大きく育て上げた

湖西市出身の豊田佐吉は、日本で最初の木製動力織機を発明するなど、豊田紡織、豊田自動織機製作所などを創業したトヨタグループの創始者。日本の機械産業の発展・近代化に大きく貢献した。その息子である豊田喜一郎は、父親の豊田佐吉から引き継いだ精神と事業を基盤に、自動車事業へ進出し、今日のトヨタグループの礎を築いた。

大工から転身した鈴木道雄が創業した「鈴木式織機製作所」は足踏み式の小型織機から始まり、鈴木式織機株式会社に改組して動力織機に進出。終戦後は戦前から模索していたバイク製造に乗り出し、鈴木自動車工業株式会社に社名変更。バイクに次いで軽自動車の製造も開始した。

浜松でオルガンの修理をしたことがきっかけで、国産オルガンの開発に成功した山葉寅楠は、「日本楽器製造株式会社」を設立しピアノの製造を皮切りに、楽器事業を展開。終戦後、接収されていた工場の接収解除後、バイクの製造に乗り出し、その後ヤマハ発動機として分社した。

東京で自動車の整備・修理を学び、浜松で「アート商会」を開業した本田宗一郎は、無線機の動力の再利用から始まり、自転車用補助エンジンの開発・製造を開始。六間道路での試走の先陣を切った。

この偉人たちに共通して言えるのは、創意工夫の天才であったことではないだろうか。それぞれ地場の工業力が上がることに尽力し、新しい可能性に挑戦することで道を切り開き、それが今も連綿と浜松、遠州、そして日本の産業の発展に大きく繋がっている。

繊維の町の象徴 卸本町

現在エンシュージアスト編集部が拠点を置き、同じ建物内でマックスフリッツ浜松店を運営するのは浜松市中央区卸本町。ここは隆盛を誇った繊維関係の卸商の団地だ。昭和40年代の高度成長期、手狭になった浜松中心街の問屋街から集団移転する話が持ち上がり、交通の便が良い国道1号線バイパス沿いに、浜松の繊維産業の物流拠点として生まれた街である。現在では繊維産業以外の企業や店舗も増え、昭和レトロな雰囲気が残る街は新たに注目されている。

夜のマックスフリッツ浜松店前。団地内は夕方早めに各店舗のシャッターが閉まり、日没後は静かで不思議な雰囲気に包まれる。

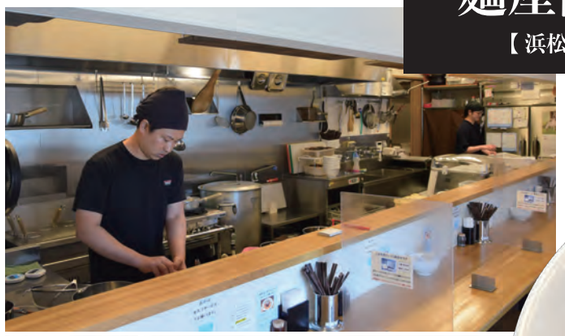
本当は誰にも教えたくない

遠州 至極のグルメ

ライダーには“バイクが集まる神社”としてお馴染み
天王宮大歳神社の神職 石津紀祥は忙しい神事の合間を見つけ、美味しい情報があるとバイクを駆って全国津々浦々どこにでも食べに行くグルメライダー。
「人生の食事の回数は決まっている。ならば、美味しい物を食さなければ人生損している。」と公言するグルメライダー石津が
”本当は教えたくないけど”遠州地方の至極のグルメ情報をお届けする。

麺屋龍壽（りゅうじゅ）
【浜松市】

鶏肉をベースに貝だしや
昆布の旨味溢れる
石津オススメの一杯。



特製芳醇中華そば 塩

大歳神社から北にバイクで5分程にある「麺屋龍壽」。東京の名店「麺屋一燈」で修行してきた店主が2016年に地元浜松にオープン。4年後、現在の店舗へ移転した。オープン当初から行列が絶えない人気店だ。
一番人気の「特製芳醇中華そば 塩」は一見あっさり系だが、スープを一口すると口の中に複雑な旨味が拡がる。鶏や昆布、貝類等々のそれぞれの旨み成分がバランス良くなるように火入れ具合を調整し繊細でオリジナリティー溢れるスープに仕上がっている。
麺は伸びにくいように2種類の小麦をブレンドした極細麺で、麺にスープが絡み小麦の風味とスープの旨味のバランスが絶妙に丁度良い。
具材の3種類のチャーシュー（豚・鶏・鴨）は低温調理で旨みを凝縮し、それぞれ違った味を楽しめる。煮卵やエリンギのガーリックバターソテーもしっかり味がついており、スープに負けない味付け。
食べ進むにつれて丼内の温度、油量、麺の硬さが変化しても最後まで美味しく食べられるように最初から計算されて作られている。
「うちのラーメンはスープが主役。今も改良を加え続けています。」と店主は語る。
旨味は人の好みに左右されにくく、見た目もオシャレで、スープを飲み干した後の満足感は女性や年配の方にも受け入れられている。
「和風と洋風が感じられ、ラーメンを食べてるようで蕎麦を食べてるような不思議な感覚がある。遠州地方で間違いなく一番美味いラーメン!」と胸を張る石津。並んでも食べたい至高の一杯だ。

麺屋龍壽

浜松市中央区天王町1407-1
【営業時間】11:00~15:00
（売り切れ次第終了）
【定休日】火・水曜日

バイク乗りなら、#ハマツー2024
年に一度はバイクのふるさとに!

ハママツ ツーリングツアー2024

チョ〜!トイイ HAMAMATSU TOURING TOUR 2024

ハマツー スタンプラリー

参加費 無料!

開催期間 2024.10/1 TUE ▶ 12/1 SUN

専用アプリのダウンロードはコチラ▶ android iphone

バイクのふるさとを巡るハマツースタンプラリー!
絶景スポットや歴史ある寺社仏閣を巡ることで、素敵な賞品がもらえるチャンス!

スタンプラリー等には専用アプリのダウンロードが必要です。

POINT! 1 自然豊かな浜松を巡る!

バイクのふるさと浜松ならではのチェックポイントを厳選。雄大な自然、歴史ある建造物、そしてライダー心をくすぐるカフェなど、浜松・湖西エリア全般をカバーする魅力的なチェックポイント!

POINT! 2 専用アプリで手軽にスタンプゲット!

専用のスマホアプリのGPS機能を使うので
「チェックポイントにいくだけ」でスタンプをゲットできます!
スタンプラリーは静岡県公式観光アプリTIPSのインストールが必要です。

※画面はイメージです。

POINT! 3 スタンプラリーで素敵な景品が抽選で当たる!

スタンプを5個集めるごとに1口応募できます。

スタンプを集めれば集めるほど当たりやすい(^^)v

スタンプを集めて、プレゼントをゲット!

スタンプを5個集めると抽選に1口応募できます。
(最大3口まで応募可能)

浜名湖のグルメや名産品が、カタログから選べる!

カタログギフト
「浜名湖だより(¥5,500)」を
10名様にプレゼント!

POINT! 4 チェックポイント

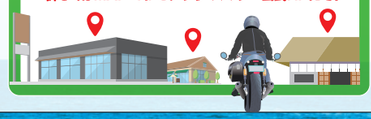
期間中、バイクで訪れるライダーに
「商品の割引やプレゼント」などの
サービスがある施設(店舗)があります。

チェックポイントは、エリア内に約40カ所!

全てライダーの受入れに前向きな
「ライダーウェルカムな施設」です。

- たくさんのチェックポイントがあるので、思い思いのツーリングコースに幅広く対応。
- チェックポイントの中には期間中、バイクで訪れるライダーに「商品の割引やプレゼント」などのサービスを提供いただける店舗もあります。

詳しくはMAP・TIPSアプリ・ハマツー公式HPにて。



朝活カフェ in Hamamatsu 浜松初開催!

2024.10/13 SUN
AM8:00〜AM10:00(予定)
浜松城公園駐車場
〒430-0946 浜松市中央区元城町102-1

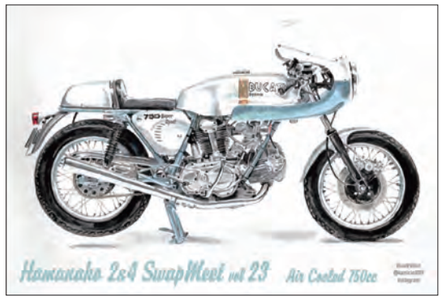
朝活のここが良い!
- 1日を有効に使える
- 混雑なく快走できる
- 澄んだ空気が清々しい!

気持ちのよい朝!穏やかで前向きな気持ちになれる朝に、好きなことを思う存分しませんか?きっと素敵な風景や出会いがまっています。

【主催】ハママツ ツーリングツアー2024実行委員会　【後援】浜松市・湖西市・公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー
【問い合わせ先】E-mail／akihito@rkoubou.com　TEL.090-8958-0656　【事務局】R工房(株)内

SWAP MEET

「HAMANAKO 2&4 SWAP MEET」今年も開催決定!



旧車乗り、乗り物好きなど多くのエンスージアストが集まるバイクと車の部品交換会「浜名湖2&4スワップミート」が開催決定。今回のテーマ車両は「空冷750cc」。バイク・クルマ、どちらも大集合ください。時にはレアなお宝が見つかるかも。ファン必見のイベントです。

■HAMANAKO 2&4 SWAP MEET
開催日時:2024年12月1日　朝5時〜昼12時まで
会場:浜名湖競艇場東側駐車場(対岸駐車場)
静岡県湖西市新居町中之郷3727-7
主催:浜名湖2&4スワップミート実行委員会
TEL.090-4163-8115
https://hamanakosm.hamazo.tv

REPORT

バイクを愛するライダーが遠州森町に大集合。第13回茶ミーティング開催。

デイトナ森町・茶ミーティング2024が、森町のデイトナ本社で盛大に開催された。企画から各種手配、運営まで全て社員が作り上げるライダーのおもてなしイベント。今回も80を超える多彩な出展者が集結した。8時30分の開場を前にライダーたちで駐輪場は満車状態。織田社長の号令でイベントがスタートした。ステージのトークショーに客席は大いに盛り上がり、白バイデモ走行、エクストリームライディングショーに観客は目を奪われていた。ライダーたちは気になるバイクに跨ったり、掘り出し物アイテムを購入したりと、思い思いのスタイルでイベントを楽しんだ。例年と比べて県内外の観光ブースが地域をPRする姿が目立った今回。スタッフも含め、みんなの笑顔で場内は幸せな空気に満ちていた。

EVENT

ようこそ、「バイクのふるさと浜松」へ。

浜松を発祥の地とする「スズキ・ホンダ・ヤマハ」3メーカーの協力のもと、浜松市が主催するバイクの祭典「バイクのふるさと浜松2024」が10／12・13の2日間、浜松オートレース場にて開催。今年はずん飯尾氏も来場して会場をレポート。MotoGPマシン展示、最新モデルタッチ&トライ、トライアルショー、競争路の体験走行、ヒーローショー、親子バイクスクールなど見逃せない企画が盛りだくさん。ケータリングブースも充実し、ライダーはもちろん、バイクに乗らない人も家族全員でバイクの魅力を味わえるイベントです。

公式HP:https://bike-furusato.net/

OPEN

ジェントルな大人のバイクウェア、マックスフリッツ浜松店がオープン。

機能性とデザイン・ファッション性が同居する大人のバイクウェアブランド"MaxFritz"は、街に溶け込むおしゃれな「バイク乗りの普段着」を提案している。今年3月、本店直営店として浜松店がオープンし、静岡県下に待望の出店となった。通販では確認しにくいサイズ感を、試着して確かめることができる。店頭在庫のない商品は、本店・FC店の在庫を確認して取り寄せも可能。

■マックスフリッツ浜松店
静岡県浜松市中央区卸本町52
TEL.053-570-1222
https://maxfritz-hamamatsu.com/

福ちゃん 二川本店	愛知県豊橋市雲谷町川通23-70	TEL:0532-41-7019
福ちゃん 大岩店	愛知県豊橋市大岩町東畑69-2	TEL:0532-43-0787
福ちゃん 舞阪店	静岡県浜松市中央区舞阪町浜田479	TEL:053-596-3019
福ちゃん 坪井店	静岡県浜松市中央区坪井町4383-2	TEL:053-449-5555
福ちゃん 西山店	静岡県浜松市中央区西山町1325-3	TEL:053-489-5559

※メニュー写真はイメージです。器、盛りつけは写真と異なる場合がございます。ご了承ください。　※福ちゃんでは各店舗ごと創意工夫し、味・内容・値段等が異なります。ご理解ください。

土方が斬る！ Vol.3

日々是反省

土方大助 ひじかただいすけ

2006年、8耐がらみで浜松へ来たモトサービスエッジ店長。2019年以来、ガレージ会員をサポートする形で8耐に絡んできた。それっぽいバイクが店内で見え隠れするのがこの店の常であるが、中身は普通にバイクの修理屋さん。

8月の終わりに8耐に関して、ちょっとした打診があった。

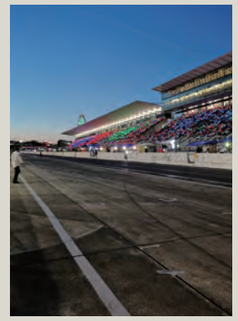
「仕事として誘ってくれるのはありがたいけど、歳もあってスピードが伴わないですよ」と返答した。まあ本決まりになるかは微妙ではあるが、シナリオの叩き台には入っているようだ。そんなこともあり、少し8耐の事を考えてみた。

今年の8耐ではSST（スーパーストック）クラスで日本の結構な経験のある3チームが失格になっている。リヤのスイングアームやホイール周りの事に起因してだ。

SSTは改造範囲が少なく、車両の基本骨格には手が入れられない。とくにホイールは純正のみ使用可、周辺パーツも改造は厳しく制限されている。

レギュレーションの冒頭には『部品又はシステムの変更は（条文に）明記されていない場合、一切禁止される』とある。それでも改造範囲は結構あるが、ホイールとその取り付け周辺には厳しい。ほぼスタンダードのままでは、耐久レースで見慣れた数秒でタイヤ交換を実現するシステムとは程遠い。

バイクのホイールを脱着した経験者ならわかるが、一般的にリアはチェーンアジャスターやホイールカラーがポロリと落ちやすい。ひとつズッコケると困ったことになる。SSTの各チームは作業上の工夫と練習でここを頑張っている。



今回の失格は実際に話を聞くと、加工らしいことは行なってなく、作業時の脱落を防ぐ作業上の工夫に思えた。だが、オフィシャルは改造と判断した。車両の他の箇所ではワイヤーロック、インシュロック、テープなどで脱落対策や養生を施しているのも事実で、予選後、決勝に向けてそういった準備をしている。彼らの問題の箇所も、その一環であったのだろう。ある意味この裁定は厳格だが、ちょっと厳しいと思う面でもある。その分、効果もあったのだろう。

今後、自ら関わるとしたら注意がいる。この場合、経験は武器なのかどうか難しい。そういえば何年か前、「日本語訳のレギュレーションで、曖昧な部分は原文も読んでみたけどよく解らなくて」と相談されたこともあった。確か、もう一度一緒に読んで考えた気がする。

これはストリートのカスタムや整備でもある話。スッといけることもあるが曖昧な部分は取説や道路運送車両法ハンドブックを一読するに越したことはない…日々是反省。

そして芳松だけが残った。 卸本町通信

最近思った事、ずっと思ってる事。 Vol.8

けん玉とKENDAMA

芳松 鎮

よしまつおさむ・1973年製
2016年12月、超思い切って脱サラし浜松市南区にGSバーガーを開業。金のかかる趣味ばかりで、結婚してからは仙人のような生活をしております。

エンシュージアストの読者の皆様こんにちは。浜松でGSバーガーというハンバーガー屋をやっている芳松です。

昨年10月、これは一生の趣味になるかも？というモノに出会ってしまいましたので、今回はそちらを紹介します。

タイトルからも分かると思いますが、その趣味はけん玉です。

けん玉と言うと、どんなイメージでしょうか？

昔遊び？子どものおもちゃ？

子どもの頃、少しは触った事があるけど難しくて本格的には遊んでないって方がほとんどだと思います。

そして、そのほとんどの方のけん玉のイメージは「運のゲーム」ではないでしょうか？

皿には乗るけど、けんに刺さるのは運がいい時だけ。

実は違うんです。

けん玉は玉の穴の位置をコントロールして、狙って刺したり、ココ乗るの？っていう場所に乗せたりする、いわゆるスキルトイなんです。

日本ではけん玉道と言われ、試験を受けてより高い段位を目指すのが昔ながらのけん玉の遊び方ですが、今けん玉はKENDAMAとして世界中にプレイヤーがいて盛り上がっているのはご存知でしょうか？

数十年か前、スケボーBMX等エクストリーム系スポーツの海外プレイヤーが日本に旅行に来た際に、お土産で貰ったけん玉がきっかけと聞いてます。けん玉道の遊び方とは違うFreeStyle KENDAMAというジャンルが生まれました。

誰もやった事がないトリックを考えて、めちゃくちゃ練習して、メイクできたら動画にしてSNSや動画サイトにUPする。これが手軽にどこでもできるエクストリームスポーツとして海外プレイヤーにハマったんでしょう。

けん玉がKENDAMAとなってアメリカ中心に世界中に何十ものブランドができ、形も日本のけん玉より皿も穴も大きくなり、玉に滑り止めが施されたり、とんでもなく進化しております。

しかし、けん玉とKENDAMAはまったくの別モノといった感じではなく、海外プレイヤーが来日した時にはけん玉検定を真面目に受けたり、その辺りのカルチャーの融合も面白いところ。

気になった方は動画検索で「KENDAMA」と入れてみてください。

とんでもない神技が大量に出てきます。

何日もかけて練習した大技がメイクできた時の爽快感は、大声を出してガッツポーズするくらい熱いです！

GSバーガーにも、お試しに遊べるけん玉がいくつかありますので、暇そうな時間を狙ってふらっと立ち寄ってみてくださいね。

Friendly Shops

The EnshuSiast Magazineは記載のショップにて配布しています。

浜松市中央区（旧中区）

オフィスヒット	053-489-3470
CUSTOM FEVER	053-455-6755
カフェレストランざぼん	053-441-9820
自家焙煎珈琲店 鴨江珈琲	053-571-2759
川島モータース本店	053-471-2543
KM元浜	053-478-0877
くれいじーママ	053-473-7955
ざいまかなきぶん	053-416-4155
smoker planet	053-528-7077
Sonix	053-476-6688
Sol y Sombra	053-450-5770
タイラレーシング	053-437-2125
TSUBAKI AUDIO	053-471-8181
HighMeal	053-525-9552
バランスデザイン	053-482-7415
喫茶店ヒコウビラン	053-440-8008
Piste HAIR DESIGN	053-489-3336
ビストロ・ヒルマン	
PLATERO	053-456-2957
古橋商会	053-453-5985
PRECIOUS JUNK	053-455-5625
ヘアーアトリエ・キートス	0120-416-429
BANGBEE	053-569-6340
ホンダドリーム浜松	053-412-6330
本の王国 ザザシティ浜松店	053-528-7014
MUMBLES	053-420-0728
ヤマハミュージックリテイリング 浜松店	053-454-4111
Live House浜松窓枠	053-451-3035
ROBANOMIMI	053-471-0022
YSP浜松	053-465-4545

浜松市中央区（旧東区）

SWEN浜松店	053-411-5133
art tool／アートツール	053-422-7765
アニー コーヒー	053-581-9777
アビーロード	053-467-0533
オートプラザドリーム	053-411-0819
オグショー	053-421-0122
音楽天国 浜松市野店	053-462-1059
スズキワールド浜松	053-464-8198
株式会社シーマー	053-468-1535
Stockガレージ	
Tickle	053-467-0160
トライアンフ浜松	053-424-6711
ナイストゥハブ	053-568-2229
南海部品浜松店	053-463-0111
浜松2りんかん	053-432-6230
ハーレーダビッドソン浜松	0120-50-7676
Huge Motorcycles	053-411-8334
HYOD PLUS浜松	053-465-8282
フロントロー	
PePe Motorcycles	053-581-7685
定食と喫茶 ボルドー	053-548-5035
望月自動車商会	053-463-7775
遊楽民	053-571-0703
ライトハウス市野	

浜松市中央区（旧西区）

カワサキ　プラザ浜松	053-415-1177
KUSHITANI CAFE 舘山寺	053-523-9169
コーヒー・ブラックバード	053-486-0365
PARKWOOD 61 BURGERS	053-488-4016
福ちゃん 西山店	053-489-5559
福ちゃん 坪井店	053-449-5555
福ちゃん 舞阪店	053-596-3019
Motorrad Hamamatsu	053-486-1200
ライダースカフェはまなこ	053-596-3770

浜松市中央区（旧南区）

アンティーク カミヤ倉庫	090-4797-4754
いろどり屋	053-482-9809
カマラド・ガラージュ	053-426-2830
ガレージ トッポリーノ	053-444-1230
KUSHITANI浜松本店	053-488-8884
Green Cog	053-441-4250
GS BURGER	090-8544-5356
昭和シェル石油浜松法枝町SS（牧野石油）	053-441-1953
GiL HAIR&SHAVING	053-548-6454
デリシャスキッチン	090-6023-9800
ドゥカティ浜松	053-411-8880
TRANSIT COFFEE ROASTERS	080-9496-3336
どんぐり食堂	053-444-1233
マックスフリッツ浜松店	053-570-1222
MAGAZINE	053-442-1551
MotoService EDGE	053-424-8586
モトレスキューフクダ	053-443-7846
BuffaloDonuts	

浜松市浜名区（旧北区）

オリエンタル雑貨+カフェ Ora	053-543-1670
蔵茶房なつめ	053-524-2525
グラニーズ	053-525-2202
サンマリノ	053-523-1185
太鼓屋JALI	053-523-2986
T-flow	053-526-0806
長坂養蜂場	0120-40-1183
HORSESHOE-BEND	053-525-9985
ホシイモン市場	
Riders Cafe CAROLWAY	053-548-5290
LOCALMATES	053-488-7799
WATTS	053-526-2261

浜松市浜名区

YSP浜北大橋	053-586-6860

浜松市天竜区

Spiral	053-925-6001
トンネルカフェ	090-2064-0173
本田宗一郎ものづくり伝承館	053-477-4664
マイルストーン	053-923-1250

磐田市

クロスオーディオ	0538-32-1023
ダイナオガレージファクトリー	0538-55-6655

The EnshuSiast Magazineは記載のショップにて配布しています。

和食処　なかや 0539-62-2061
KNOTT'S BERRY FARM 0538-35-7003
美容室 カモミール 0539-62-6077
兵頭楽器　磐田ミュージックセンター 0538-37-0354
モトガレージ ベッカク 0538-38-9094
ライダーハウスKEN 0538-66-7645
カフェ レッドローズ 0538-74-1454

袋井市

イノマタ自動車整備株式会社	0538-41-1117
Café & Bakery げんらく	0538-23-0141
koti by Luomu	0538-48-5522
JUNK MASTER	0538-84-7996
SWEN袋井店	0538-41-2155
兵藤楽器袋井ミュージックセンター	0538-42-2037
めがね工房FUJITA	0538-23-8912
RIDER'S	0538-43-6005
YSP袋井	0538-43-4646

遠州森町

アクティ森	0538-85-0115
エルドラード森町	0538-31-2251
ゲストハウス森と町	090-6160-3850

掛川市

大石農場ハム工房	0537-48-5618
Kakegawa U.S.A. Village	0537-64-6002
café PIT	090-2344-6611
しばちゃんランチマーケット	090-2342-2725
ならここキャンプ場	0537-25-2055
本と、珈琲と、ときどきバイク	080-6364-1872
民宿ふくだ	0537-72-3604
Rise Burger	0537-29-6613
LEFTY BOND	0537-26-9068

菊川市

アイアンクラフト	0537-26-9900
リバティーリゾート大東温泉	0537-72-1126

御前崎市

Coockhouse椿	0537-86-7150
コピボット（KOPIPOT）	0548-63-6620
パシフィックカフェ御前崎	0548-63-1100
風のマルシェ御前崎	0537-85-1177

湖西市

アオゾラカフェベイス	053-579-3985
J.Diner KAMACHI	053-523-7393
杉浦タイヤ商会	053-594-1728
麺's Diner KAMACHI	053-401-3004
BONZO COFFE	053-528-7686
寄道カフェ　ロンボアン	053-594-0650

愛知県豊橋市

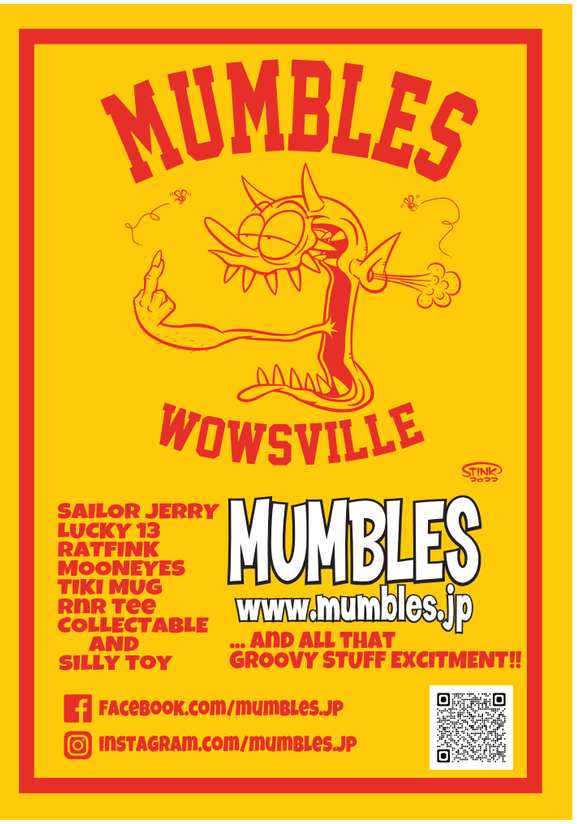
カワサキプラザ豊橋	0532-26-2277
バイクサポートFTW	0532-88-6011
バイクショップZAPPER	0532-32-7576
88食堂	0532-35-7496
福ちゃん 大岩店	0532-43-0787
福ちゃん 二川本店	0532-41-7019
FULL HOUSE	0532-35-6684

東三河エリア

遊べる花屋	090-4193-6088
SKCしんしろカートコース	0536-29-4458
だみねテラス	0536-64-5516
保木平珈琲 Murmure	0536-30-1604
道の駅したら	0536-63-0120
道の駅鳳来三河三石	0536-34-0139

関東地区

マックスフリッツ本店	03-5671-6335
ライコランド柏店	04-7193-4182
ライコランド埼玉店	048-723-8211



〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805

株式会社デイトナ
東証スタンダード上場

From Editors 編集後記のような話

Running on Empty.

「バイクのふるさと」とも呼ばれる、ここ遠州地域に「造り手と乗り手をつなぐツール」があれば…と思ったのが10年ほど前のこと。思い立ったが吉日、同じ社内にバイク乗りが多かったこともあり、早速みんなでいくつかの目標を定めた。テーマタイトルを「エンシュージアスト（遠州の熱中人）」と決めたのもその時だった。あれからメインのツールであるマガジンを発行し続けて、おかげさまで今回で8号を数えることとなった。当時定めた最終目標は「ライダーが直接ミーティングできる場所づくり」そして「バイク博物館の創設」であった。後者はさすがにまだ先のビジョンとして長い道のりになりそうだが、前者は今年3月にオープンした「マックスフリッツ浜松店」の運営、管理を行うこと、そして今回の「遠州（三遠南信）バイクツーリズム計画」など、いよいよ具体的なものとなってきた。いずれにしてもエンシュージアストだけではなく、同じ志を持つ人たちと手を取り合いながら、少しづつ実践している最中である。そう、ライダーの教訓「仲間とともに走り続けること」はジャクソン・ブラウンがそう歌い上げた1970年代から変わっていないのだ。

山さん山川

エンシュージアスト編集発行人。（有）キーウエスト クリエイティブ代表。愛車はトライアンフT100とオレンジ色の耕うん機。ギターは日本製エピフォンのフルアコ。

舞台裏は、いつも真剣勝負だ。

熱中することをテーマに発刊しているエンシュージアスト。8号を迎えた今回も、いろんな方との出会いがあった。取材する側とされる側。初対面の相手とは、最初は当たり障りのない会話から始め、お互い少しリラックスした状態になってから、徐々に核心へと迫っていく。取材も終盤に差し掛かったころ、ひょんな流れでその人の本心がポロリとこぼれることがある。ただし、取材は予定調和では終わらない。こちらの力不足で本心を引き出せないこともしばしばだ。それでも自分なりにテーマを決めて、丁寧に相手と接することをいつも心がけているつもりである。貴重な時間をいただき、毎回そんな取材をするのは、一対一で相手と向き合い会話するのが心底好きなんだと思う。そこで得られる貴重な経験に感謝するばかりだ。何かに真剣に取り組んでいる方との会話は楽しい時間でありつつ、取材後はエネルギーを使い果たしたような脱力感に襲われる。この本が出来上がる裏では、毎号このようなことが繰り返されているのである。読者に取材に応じてくれた方の本音が少しでも伝わってくれたら良いのだが。

テキサス大沼

エンシュージアスト編集長。78年式モトグッチカリフォルニアが、電装トラブルで調子が出ないのが目下の悩み。しかし、出来の悪い子ほど可愛いもので、のんびりと付き合っている。

メンタンピン三色ドラ1

昨今、麻雀がブームになっているのをご存知でしょうか?麻雀といえば、煙草の煙が充満した部屋でお金を賭けてゲームをする不健康な昭和の大人のギャンブルのイメージが強いと思います。しかし、令和になり知的ゲームとしての側面が注目され、徹底的にギャンブル色を排除したプロモーションにより、麻雀プロリーグ「Mリーグ」や麻雀アプリ「雀魂」、麻雀プロによるYouTubeコンテンツなどが麻雀を知らない若年層や女性に人気になり、今、令和の麻雀ブームといわれております。実は僕も昔から麻雀を嗜んでおり、中学ぐらいから仲間内やゲームで麻雀を楽しんできました。そして、昨年から奥さんと小3の娘も麻雀にハマり休みの日には家族麻雀したり、テレビでMリーグを見ながら推しのチームを応援したり、家庭にも麻雀ブームが来ております。実はこの麻雀ブームで麻雀が打てる人が増えたかと言えばそうではなく、麻雀を「観る」人が増えたのが大きな要因のようで、先述の「Mリーグ」の推しチームや推し選手を応援して楽しむ人に支えられているブームみたいです。バイク業界も免許が無い人に注目されるコンテンツが出来ればもっと盛り上がるのでは無いでしょうか。

ドン・サハラ

エンシュージアスト デザイナー&エディター。西アフリカのジャンベとブラジルのサンバ、そして日本のサザンをライフワークにしている太鼓野郎。愛車はH-D XL883N。

魔神ふたたび

「魔神」は、VMAX1200が国内販売された時カタログに載ったキャッチコピーだ。45年のバイク歴の中、同じバイクを再び手に入れたのは初めて。33年前に初期型のカナダ仕様のVMAXに乗っていたのだが、諸々の事情で手放し「またいつか」という気持ちが残火のように残っていたのだと思う。それがたまたまYoutubeで見かけた動画がきっかけで再燃し、魔神探しが始まった。とは言ってもVMAX1200は2007年に生産終了しているもはや旧車の部類。球数は多いものの、状態の良い個体を探すのは至難の業。オークションサイトや市内のバイク店に入庫の情報があれば見に行ったりしていたが、この初夏ついに縁あってやり取りをした東京の方から1997年型のカナダ仕様を譲ってもらうことになった。名変後に陸送の手配をしてデポに取りに行った時の緊張感。事務所で受け取りのサインをし、案内された倉庫に鎮座するその姿はまさに魔神。暖気のあとデポを後にして恐る恐る走る。久しぶりに感じる重量感とパワー。20代最後の年に乗っていたあの頃を思い出しつつも、それとは違うもう少し大人の付き合いができそうだ。

アジト石塚

マックスフリッツ浜松店長/エンシュージアスト編集スタッフ。
素材を問わずアナログなモノづくりが趣味。目の手術を終え、裸眼で見えすぎる世界に酔っ払いがち。

北の国から ‘24 仕事

いま、北海道札幌に来ています。憧れの北海道ツーリングではなく、仕事です。新千歳空港から札幌駅、そして地下鉄に乗り換えたわけですが、ここに来てムクムクと思い出が……。そうだ、35年前、ここで野宿したんだ。そうなんです、大学生の頃に約2週間かけて北海道を3/4周するツーリングに来て（当時の愛車はYAMAHA SRX）、札幌駅に野宿したんです。当時はそれが北海道ツーリングのイベントだったりして、かのツーリングマップにも掲載されていたような（いないような）。朝、通勤時間前には撤収し、近くのベンチからスーツ姿の人たちを眺め、少しだけ自由というものを感じたのを覚えています。あれから35年、フツーのおじさんになって、札幌に帰ってきました。いいのか、悪いのか?そろそろ私もいい年齢になってきて、あの時に感じた自由をもう一度感じたい。そうだ、ツーリングに出よう!知らない場所で、知らないことに出会って!そして自由を味わうんだ!うちには車検も通していないHONDA CL400があるじゃないか。

砂おじさん（松下）

中田島砂丘が好きで、中田島砂丘観光協会を一人で設立。観光業をしていないのに観光協会だって。この時点で自由だったりするのかも。

エンシュージアストマガジンを発行する（有）キーウエスト クリエイティブでは、エンシュージアストに掲載する広告をはじめ、ポスター、カタログなどのデザイン・印刷、各種サイトのデザイン・制作、イベントなどのプロデュース・管理等を承っております。
右記までお気軽にお問い合わせください。 **TEL：053-570-0225　texas@key-w.com（担当：テキサス大沼）**

Back Numbers

Vol.1
2017年8月発行
遠州の「熱中人」

Vol.2
2018年8月発行
遠州・ものづくり・熱中人。

Vol.3
2019年8月発行
ON ANY EVERYDAY!
熱中人でいこう!

Vol.4
2020年8月発行
NO ENJOY, NO LIFE
「好き」を諦めるな。

Vol.5
2021年11月発行
FEEL THE WIND
遠州の風を感じて。

Vol.6
2022年10月発行
バイクのふるさと浜松 2022 徹底ガイド
浜松オートレース場がバイクのテーマパークになった!

Vol.7
2023年10月発行
BE GENTLEMAN!
WHILE MY MOTORCYCLE GENTLY SMILES

バックナンバーの在庫について
号数によっては多少の在庫がございます。ご入用の場合はエンシュージアスト編集部（マックスフリッツ浜松店内）までお越しお求めください。

The New Standard of Sport

GSX-8R

GSX-8R メーカー希望小売価格（消費税10%込み）¥1,144,000（消費税抜き¥1,040,000）

■メーカー希望小売価格には、保険料・税金（消費税を除く）・登録などに伴う諸費用は含まれておりません。■メーカー希望小売価格は参考価格です。販売価格は各販売店が独自に定めていますので、詳しくは販売店にお問い合わせ下さい。■メーカー希望小売価格は消費税10%にもとづく価格です。
●車体色は印刷のため、実物とは異なる場合があります。●仕様および装備は予告なく変更する場合があります。●写真は、海外で撮影されたものです。ー般公道では無理な走行をせず、安全な運転をしましょう。
●Photo：トリトンブルーメタリック（YSF）

一般財団法人 自動車公正取引協議会・会員

SUZUKI スズキバイクショップ
ホームページで販売店をご確認ください。

2年保証
スズキの二輪新車（競技用車輌・電動アシスト自転車は除く）には、2年保証が適用されます。

スズキでは廃棄二輪車のリサイクルを推進しています。※リサイクルマークがついていない車両であっても、廃棄時にリサイクル料金のご負担はありません。※廃棄二輪取扱店に車両をお持込の場合、収集・運搬費用が別途必要となります。詳しくは、廃棄二輪取扱店にお問合せください。

お問い合わせ、ご相談はお近くのスズキ販売店、または下記お客様相談室まで。
スズキ株式会社 お客様相談室 0120-402-253 受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00
○弊社お客様相談室におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、スズキ株式会社ホームページにて掲載しておりますのでご覧ください。https://www.suzuki.co.jp

EnshuSiast

The EnshuSiast Magazine/Vol.8　2024年10月12日発行
発行｜有限会社キーウエストクリエイティブ　〒432-8055　静岡県浜松市中央区卸本町 52　エンシュージアスト編集部

本誌に記載されている記事、写真等の無断掲載、複写、転載を禁じます。

Printed in Enshu